京城日報
(年中無休刊)
定價 一部金四錢 一ヶ月金壹圓五錢 三ヶ月同三圓 六ヶ月同六圓 一ヶ年同拾武圓
廣告料 五號活字一行金壹圓 特別二號活字一行同二圓 同四號活字一行同二圓
印刷人 奧田直發 編輯人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

十一月七日夕刊（明夕刊併せて八頁）

# 山東削除不成立

ロッヂ氏は四日上院に於て講和條約より山東條項全部を削除す可しとの動議を提出したるも四十一對二十六の少數を以て不成立となれり（華盛頓電報）

## 獨墺委員參列決定

國際勞働會議は三十日一票に對する七十一票の多數にて獨墺委員の參列許可を決定せるが右反對者は佛國資本家代表者なり（華盛頓電報）

## 聯國墺工業復活

聯合國委員會は墺國の工業狀態を戰前の如く復活す可く努力すべし（巴里電報）

## ウ氏白皇帝會見

ウイルソン大統領は白耳義皇帝同皇后と十月三十日會見せり（華盛頓電報）

## 英紙寺伯稱讃

當地諸新聞は寺內伯の薨去に對し伯は日本の技能ある陸軍首腦者の一人にして卓越せる政治家なり又伯は英國及び聯合國の眞實なる友人なりと稱讃せり（倫敦電報）

## オ政府撤退著手
### イルクーツクの活氣

十一月二日イルクーツク陸軍派遣員よりハルビン交通支部長宛來電に曰くオムスク政府は撤退に著手したるため當地は著しく活氣を呈せりオムスク交通省次官は大臣に先だち四五日頃に當地に到著の豫定なり官衙の撤退その他のため此の二週間內に到著の列車三百車の豫定なり（ハルビン電報）

## 閣員人選稍行惱

新內閣閣員及次長人選に付きては政客東奔西走各其自己の信ずる者の爲めに運動しつゝあるが第一の難關は內務部總長にて段祺瑞氏は吳炳湘氏を同總長に昇任せしむべく腐心しつゝあり然るに一方田文烈氏を內務に移し張志潭氏を農商總長に任ぜしめんと運動しつゝある者あるも段祺瑞氏は贊成を表せず尤も吳炳湘氏は總監の職を辭退しつゝあれば果して內務に就任するや否や未だ不明にして要するに閣員の決定は稍行惱の姿なり（北京電報）

## 勞働局所轄決定

既報勞働局設置に付其後確聞する處に據れば右は社會局と併せ內務省所轄とし勞働局と命名する由（東京特電）

## 航空局臨時委員官制發表

帝國航空局臨時委員官制は愈々九日の官報にて發表せられ山梨陸軍次官を委員長とし航空課長松井大佐、軍事課兒玉(友)少佐航空課兒玉(常)大尉の三名幹事として任命せられ諸般の事務を處理すること、なれり松井大佐は曰く『右は陸海軍大藏遞信其他の各省より三十名の委員を出し暫く民間飛行を統轄すべき機關の設立及び其の法令の制定を立案討議するのであつて結局は內閣直屬の航空局の設立を見るべき階梯となるのである。航空局は來年四月頃迄には出來るであらう』尚此委員會の第一回會議は陸軍特別大演習終了後陸軍省に開催せらるべし（東京特電）

## 暴利取締令適用

暴利取締令適用に就ては過般來調査中なりしが近く適用すべしと（東京特電）

# 山東交涉近し
## ＝帝國態度表明＝

**處分兩說** 山東處分問題に付日支直接交涉を開くべきや將た復日支交涉を開かずして之を保留せる儘將來國際聯盟問題に附議すべきやに就ては北京政府部內に二種の說あり國務會議は取り敢ず外交總長陸徵祥氏の歸國を俟ち本問題を解決するに決定せる事既報の如くなるが最近新總理の正式任命あり北京政府の基礎に鞏固を加へたる結果再び日支直接交涉論北京政界に於て有力なるに至れり本問題に付帝國政府部內には姑く支那の政局を觀望す可しとの議論ありしも其後直ちに支那政府と交涉を開くべしとの說次第に有力となれり

**外務意見** 聞く所に據れば外務當局の主張する所は元來山東處分に關する日支交涉開始問題は法理上より云へば支那が未だ獨逸講和條約に調印を了せざるに際し帝國より進んで交涉開始を慫慂するは如何あらんとの說あるべきも現に某々國民中には日本は永久的に膠州灣を領有せんとするに非ずやとの疑念を包藏するもの無きに非ず故に此際帝國の批准完了を機として直ちに支那政府に對し帝國は對獨講和條約に依り獨逸より繼承せる膠州灣租借地並に山東省に於ける諸般利權を支那に還附せんとする旨を通告し獨り支那國民に對してのみならず全世界に對し日本の公正なる態度を表明すべしと云ふにあり

**還附條件** 而して右の通告に對しては支那は一應之が容認をなすべきも所謂還附條件の商議に就ては幾多の曲折を要するものあるべく帝國政府は勿論大正四[illegible]の日支條約に準據して還附を履行せんとするものなるが之に對し支那側は無條件回收と云ふが如き突飛の議論は爲さずとするも山東鐵道問題及び青島居留地問題等に付對案を提出し來るべく居留地問題に就ては支那側は多分日本が專管居留地設定權を放棄し共同租界を設定せんとするに對し之を歡迎し支那自身も共同租界の一員たらんことを希望すべく此の點に就ては日支兩國間に何等意見の相異を見るが如き事無かるべきも山東鐵道管理問題に就ては支那側の諒解を得る迄には帝國は尚一應我誠意の那邊に存するかを闡明するの必要を生ずべきかと揣せらる

**山鐵合辨** 但し帝國は山東鐵道を名義上日支合辨の組織の下に管理し[illegible]支那側は[illegible]共に日支合辨[illegible]巴里講和會議中支那全權が米國全權を通じ非公式に我牧野全權の携帶せる[illegible]日本側より推選せる日本人を支那政府の自由意志に依りて任用し之を山東鐵道の幹部に加ふる事となるべく其他所謂合辨の內容及び實施に就ては誠意を以て之に當るべきも結局は支那側の諒解を得て此の點に就ても[illegible]外務側の意見が容れらるゝ以上は[illegible]正式に小幡公使に訓電を發する[illegible]一日頃迄に於て第一回批准調印[illegible]作製され講和條約が效力を生ずる後なるべく[illegible]本月中旬以後なるべきかと觀測せらる

# 第二回米作豫想
## 千二百六十八萬餘石＝前年より二百三十九萬石減

本年水稻收穫豫想は秋分日（九月二十四日）現在調査に依り農商務省に發表したるが如く旱害の爲前年に比し多大の減收を免れざる見込なりしが其の後に於ける天候順調を得たる爲作柄幾分見直したるを以て第二回收穫豫想に比し約八萬石の收穫を增加すべき見込なり即ち十一月一日現在の作況に徵するに其の收穫豫想高一千二百六十八萬六千四百七十一石にして之を前年の實收高に比すれば二百卅九萬三千九百八十三石即ち一割五分九厘の減收なり今累年對照に大正八年[illegible]方別第二回水稻作豫想高及び前年實收高との比較を表示すれば左の如し

▲水稻收穫高累年對照

| 年次 | 收穫高（石） |
|---|---|
| 大正元年 | 八、八九三、二二八 |
| 二年 | 一〇、〇〇一、五八七 |
| 三年 | 一二、〇五七、四三四 |
| 四年 | 一一、二七九、五三一 |
| 五年 | 一二、四三〇、二八四 |
| 六年 | 一二、一一二、六三〇 |
| 七年 | 一三、六七一、二六一 |
| 第二回豫想同年實收概數 | 一五、〇八〇、四五四 |
| 八年第一回豫想 | 一二、六〇五、八八八 |
| 同第二回豫想 | 一二、六八六、四七一 |

▲道方別收穫豫想高

| 道別 | 八年第二回豫想高（石） | 昨年との比較増減（△）（石） |
|---|---|---|
| 京畿 | 一、〇九四、五二八 | △六九八、〇〇六 |
| 忠北 | 五七六、九七七 | △一〇五、六七七 |
| 忠南 | 一、二〇五、五四九 | △五二九、七九四 |
| 全北 | 一、三五八、〇〇七 | △三二七、〇〇三 |
| 全南 | 二、一〇六、八〇四 | 一〇三、八二五 |
| 慶北 | 二、二四〇、三二八 | 八、五三三 |
| 慶南 | 二、〇二六、九七七 | 一四九、八〇七 |
| 黃海 | 五四七、五〇七 | △五五三、三三三 |
| 平南 | 三三七、三三六 | △三五九、四五五 |
| 平北 | 四七三、四九九 | △二六〇、七六八 |
| 江原 | 六四〇、九九二 | 二〇、三五九 |
| 咸南 | 三三九、四四二 | 二〇七、一八五 |
| 咸北 | 一四二、五四〇 | 二二、六八五 |
| 總計 | 一二、六八六、四七一 | △二、三九三、九八三 |

## 鮮鐵輸送力增加
### 四十年に比較し二倍

朝鮮線に於ける輸送力は最近運輸の殷賑に伴ひ著しく增加を示せるが現在機關車數は二百八輛にしてミカド式テンダー（重量百四十噸）を最新とし其他テンダー・エンジン四種タンクエンジン三種を使用せるが之を四十年度のそれに比較する時は恰も倍數に當れりと現在機關車の種類タンクエンジン百輛テンダーエンジン百八輛なりと云へり

## 局部長會議

七日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議を開き齋藤總督を始め各局部長並に所屬官署長參集諸般の政務に就き審議したり

## 殖鐵社長問題
### 專任者不要　小原氏如何

朝鮮殖產鐵道の社長は賀田直治、山本悌次郎の兩氏就任實現し難く結局松平東拓理事を推すに內定し居りし所突如小原前農商務部長官の呼聲を生じたるも事は既報の如きが小原氏の社長たるは面白からず觀測せらる

**松平東拓理事** を押す

**有力株主** の反對ある

小原氏に對し必ずしも好感情を有せざるやにも傳へられ結局前途は必ずしも波瀾の渦を避け難からん

長たるは面白からず三菱の如き如入社の意向を有し飛込的に社長に就ても發起人並に大株主の間に異論あり然し乍ら小原氏の推薦者は石塚東拓總裁人見同理事等にして相當有力なる如くその點に就ても小原氏亦熱心運動中との事につき前途俄に斷じ難きも小原氏の社長を不可とする根本理由は

**西鮮殖鐵の如きに專任の社長を置く必要ありや否やと云ふにあり**若し小原氏を專任社長に拉し來らば少くも年俸賞與を合し二萬圓內外を要すべし銀行若くは商事會社の如き事業と異なり地道なる地方經營並に拓殖事業に斯の如き高俸を支出するは政府の補給を受くる

**鐵道會社** にとりては色ありと見ざるべからず少くも當分は松平子の如きを名義的に推し事務も一名位に留め經濟的の經營を行ふを可とすべし小原氏は多年朝鮮開拓の經驗ありて手腕力量には缺點なきも然し乍ら政府より唯命令を受くるべきも然し乍ら今後の事業に如何なる影響を與ふべきかも考慮せざるべからず更に小原氏が本鐵道の設立當時より關係せるならば兎に角株式の公募終りたる後に入社の意向を有し飛込的に社長に就かんとするは[illegible]

# 一億圓を突破せん
## 年末の京城各銀行貸出豫想

本年の朝鮮財界は一月以降物價の騰貴諸事業の勃興に伴ひ

**未曾有の膨脹** を來し[illegible]しきものありしが京城府は半島政治經濟上の中心地たる關係上自然貸出總計の如き九千二百萬圓の數字を示し之れを一月十五日の現在高五千六百萬圓に比すれば

**三千五百萬圓即ち約六割五分の激進を來し居れり**九銀行中增加率の著しきは朝鮮殖產銀行同商業銀行第一銀行にして殖產銀行は一月上半末に於て四百九十萬圓なりしも十月末に至つて一千二百八十萬圓に即ち約八百萬圓の增進を見し朝鮮商銀は二百四十萬圓より七百五十萬圓に即ち約三倍又第一銀行支店は一月上半末五百五十萬圓而して十月末一千一百萬圓に各激增し

**朝鮮銀行** の貸出しも一月の三千百萬圓より十月四千百萬圓に即ち一千萬圓の增加となり自餘の各行も之れに準じて增大し居れり而して歲末を控ゑたる今後は各銀行共[illegible]の需要を[illegible]

事に一致し貸出し手控の方針をとるも然も未曾有の事業勃興殊に鐵道株の拂込に要する

**拂込資本金の需要少なからず** 新設[illegible]

## 京城商議逐鹿情勢
### 候補者の顏觸　競爭漸く生ず

京城商業會議所選出議員一級戰は表面暗默の間に推移せるが如きも裏面の暗鬪は意外に猛烈にして而も昨日の切迫は何時迄も暗默の狀態を裝ふを許さず昨今に至り各候補者の顏觸れ漸く色を鮮明となり大勢既に決せるが如し

**先づ現議員** 中よりは林田金次郎、矢澤近次郎、古城龜之助、梶原末太郎、高木德彌、進辰馬、大賀龜吉、釘本藤次郎、佐野彥藏の諸氏にして新議員としては松本勝太郎、賀田直治、松崎時勉、高井建次の諸氏あり其他荒井初太郎氏は諸種の關係上暫らく形勢觀望の姿をとり或は戰局の展開と共に投籤を入れるやも計られず原勝一氏も會…

**定員十二名** に對し一名の落伍者を見る譯なるが更に一部の間には香頭問題を中心として此際大會社銀行の巨頭連中より會頭を物色せんとの希望もあり既に此の方針の下に運動を開始したる形跡あるを以て此の會頭問題の解決如何によりては更に落伍者一二名の增加を見ることゝなるべきか而して二級戰に於ては篠崎半助、藤富國太郎、三部、新井虎太郎、矢野菊松、辻本嘉藤、田安之進、山岸祐吉、土井伊右衛門諸氏は大體

**出馬疑なく** 新顏として

[illegible]ては近藤脩氏株式及運送業を擧げ當選地として運動最も猛烈なり尚鍋島氏は前回落伍の雪辱戰をなすべしとの說あり

# 金融大勢
## 預金伸力鈍し　前途益々緊縮

京城組合銀行の貸出激進は前項の如きが尚て一方預金の伸力を見るに貸出の膨脹と伴はず乃ち比較對照左の如し

| | 千圓 | 千圓 |
|---|---|---|
| 貸出 | 五六〇〇〇 | 九一〇〇〇 |
| 預金 | 四九〇〇〇 | 六七〇〇〇 |

乃ち貸出しの三千五百萬圓增加に對し預金は鮮銀の如き內地より少からず吸收したるに拘らず尚ほ漸く一千八百萬圓の增加來したるに過ぎず今後と雖も貸出の膨脹は當然來るべきも然も預金の之れに伴なはざるは明かなる事實につき結局各銀共その所要資金は(一)內地側銀行支店より融通を受くるか(二)在京店銀行は鮮銀の貸出しを求むるかの二途の一によらざるべからざる形勢は金融が緊縮狀態に陷り

**稀有の高率** を示すべからざるに至るべきは免れずもらを受けよりコールの如き

## 皮革配當五分

朝鮮皮革會社の今期成績は皮革製品の昂騰內部整理進捗等のため株主配當は年五分の割としたり次期以後は更に好良なるべしと

## 赤池局長視察

赤池警務局長は江原道地方狀況視察の爲ト部保安課長を隨へ七日朝春川に出張八日午後歸城すべしと

## 人事消息

▲守屋此助氏（辯護士）七日午前十時總督府に齋藤總督を訪問入城の挨拶を爲せり
▲久保京管局長 七日朝小林理事と京釜線に出張
▲河合治三郎氏（京管局經理課調査主任）京元線各驛觀察中の處七日夜歸任
▲長谷川長氏（步兵大尉）步兵第七十三聯隊より軍司令部附に轉任
▲林玉木氏（工兵少佐）伊太利飛行將校と打合の爲め七日夜來城
▲淨法寺師團長 幹部演習狀況視察の爲め落楼を遂へ七日水原へ八日夜歸城の豫定
▲井戶川少將（平壤旅團長）七日朝水原へ
▲堀田信庭氏（七八聯隊長）同上
▲京城專修學校生徒 六日午後七時の京列車にて修學旅行より歸城
▲辻三井支店長 本店と事務打合せの爲め九日東上出途大阪に立寄り東京在の上廿日頃歸任すべし
▲東拓殖産課長 同上
▲馬詰次男氏（東亞煙草常務）社用を帶び七日午後列車にて東上

## 財界閑話

◎朝鮮自動車運輸會社と云ふのが一百萬圓の資本金で京城の有力者により企畫されてゐる▲目下京城を中心とした自動車運輸の狀態は小企業が出現して自動車運輸業者に統一あり相當の資本を擁した自動車運輸業の出現も亦不可でないものと思ふが▲鮮鐵の如なる事は自動車運輸業者の發展には京仁地方間の旅客の交通狀態物資の交通等今後の趨勢などから見て相當有利の事業ではあらう▲唯當局の許可を受けられるかは一[illegible]獨占的のものにあらざるは勿論久しき許可を受けた線路が永續してゐる者もあり今後も起り得るでもあらうと思はれる▲何れにせよ忠州にせよ仁川にせよ他に許可を受けて經營してゐるさう云ふ事は云へないない▲非常に有利な事業のやうに吹聽するのは如何なものであるか事業の性質は花々しいが成るべく堅實の行き方をして欲しい▲それに創立委員長さかと云ふ人には何人を推し立てるか知らぬけれど發產の怪しい信用狀態を決く認められぬ人物を舉げるのは會社のために甚だ困る前からよく人を選ばねばならぬ事業の當事者は人にあり生ずる事業は何ら目的がある▲人の發展を見るのである有力銀行家は語つてゐる▲新會社の續出で朝鮮でも株券の洪水と云ふ状態を現出して來た、今姑らく水に引きさうにない暁ゐるばかりであらう▲此の洪水の跡始末をつけねばならぬ時期がいつ來るかはそれは何人にも適確に示へぬ事だが新會社の株券と云へば儲かるものゝやうに思つてゐる人が未だあるもの、やうになって來ると矢張り恐しいのは政府關係事業でもしむき特種銀行株や鐵道株であらう

## 林少佐來城

伊國飛行隊歡迎準備の爲め來城すべき陸軍飛行隊附林少佐は七日午後七時四十五分龍山著列車にて入城八日總督府軍其他準備委員と協議する筈尚六日新義州著の豫定なる伊國準備將校に關しては未だ何等の通報に接せずと

◎鮮銀券日報 十一月五日の現在左の如し

| | |
|---|---|
| 發行高 | 一二九、七四一、七三一 |
| 正貨準備 | 五九、八〇五、八九三 |
| 保證準備 | 六九、九三五、八三八 |

## 柳川（廿四）
### 剣花坊先生選

秋の風（佳句）

秋風に猫の子が抱きしめられて　京城 貞三

【評】新傾向の俳人は、こんなのを俳句だと云ふ、しかし古川柳の破格の句にも、蜩子はちがうが、こんなのはある、俳句が川柳化して來たのだとも云へる。

水扇の旗を秋風吹倒し　鎮南浦 可瞰

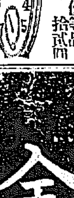
【評】所謂趣向のある句だが、こしらへた句になつてゐる、たとへそれが作者の實感で有つたにしても、何となく厭味がある前の句の樣な比較的深い味に乏しい

秋の風いつから米は下るだろ　鎮岩浦 飛躍昇

【評】かうなつて來ると、ちよつとさ俳句と川柳との見分がつかなくなる、一茶や鬼貫や其他に、こんな俳句を作るものは少なくないかう云ふのが俳句論の例句に引張り出される。

## 其の日その日

◇世界の事は猫の目の如し、獨帝罪問の發起者が英國に於いて罪問反對論起り、米國が巧に出し拔けの成功たる對支煙酒借款に對しても、支那國內に反對の聲盛ならんとす、更に南歐に於ける反過激軍の全敗と觀じ來れば、如何に變轉極まりなきが浮世とは申乍ら、之れは亦一學を顧みす樣な變り樣、眞に走馬燈以上の觀あり、呵々。
◇何日迄も一番可愛想なるは兵火に呪はれし露都の慘狀也、洵に目も當られず、窮民街路に泣き喚き、一片の麵麭、一本の餅に餓を凌ぐ彼等は、唯徒らに此世からなる地獄の暗中を彷徨するのみ、光明を夢見て却つて十年の困苦を求む、今更人を呪はん樣なけんも、是れ罪惡する に無智と煽動の賜也。遮莫此の血潮の中に狂つて、惡魔的辯舌を紡くる過激派は敵乍らも健氣也。而して彼等が後世の歷史を汚す、横暴者は、後世の爲め者に或教訓を與へざるに非ず。
◇新雲鵬君愈々正式總理となる、是即ち待てば海路の日和の御無くんば非ず。第一革命當時姿を綴節に乘せ、自ら輿夫に扮して命からがら雲南城を落延びたる彼は、意外も意外、國務總理の重任を贏ち得べしとは、當年夢想だにせざりし處、洵に天下第一の好運者也。
◇由來支那に於て、思ひがけず玉の輿に乘るは、豈唯美人と俠書のみならんや、前總理錢能訓君の如きも然り。彼や第一革命當時の陝西巡撫として亂に遭ひ、進退谷つて短銃にて自殺せんとせしも、彈丸外れて爲に生き延ぶるを得たる幸運者也。落武者なるも面白し。彼の眞つ先に武昌を逃出したる張彪君の如きも、待てば海路の日和もあらん。自重せよ。


▲純舶來金側代用時計
本品は實際に新入の金側代用時計にして瑞西國製の如く新式流行形本金側に最も適し色の光澤を具へ最も適し片蓋16形側は時間正確堅牢無比廿ケ年保險附

拾圓五拾錢 優等品拾武圓
長品に同色の鎖メタル時計包一切進呈前金送料不要引換小包は送料五十錢切手一割增不向の時は交換又返金 振替大阪壹武六堂
大阪平野町 地藏南入 日野時計店

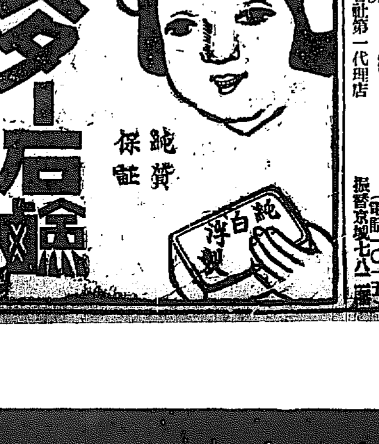
法人登記公告
京城商業銀行[illegible]一高浪浦金融組合理事官[illegible]
右 京城地方法院 長湍出張所

職業 八圓以上
適當な男女共自宅で手輕に出來るキレーなタケナガ加工
年中無休 郵券十五錢を要す見本付說明書は東京本郷一丁目八番 小三九五四 三見本店

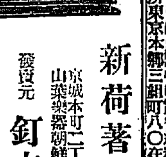
公債株式現物賣買 證券擔保金融信託 工業藥品理化學器械 滿洲製紙會社特約店
龍 開澄商會
大連株式取引所組合員 滿洲證券現物市場仲買 大連市若狹町一一三 電話長一七九八番 振替大連二一〇二番

安心の出來る 化靴

ボックス皮製編上 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號八圓五十錢 四號九圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製短 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製深ゴム 一號六圓五十錢 二號七圓五十錢 三號八圓五十錢 四號九圓五十錢 五號十一圓半
▲御注文の節は靴の種類代金及足袋の文數等詳細御知らせ次第▲御送付可中但送料實費申受候▲皮見本付型錄は御申越次第進呈可仕但し郵券二錢を要す▲御希望の方は御照會あれ 御用命に可應候
東京府廳御用 日野靴店 東京京橋幸町 (電話京橋三六三九 振替東京九一五一)
電話御有 本町二丁目 釘本藤次郎前 電話八五五番 吉田屋

シスター石鹸

純質保証 純白浮製 青色琺瑯

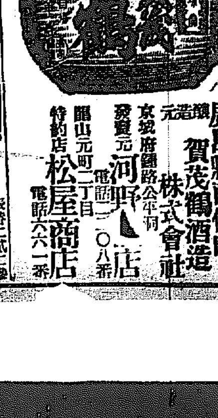
創立明治二十八年
各時計卸商
貴金屬製作卸所 帝國火災保險會社第一代理店
京城黃金町二丁目 喜多金光堂 (電話一〇一五) 振替京城七〇八一番


新荷著 (目錄無代贈呈)
京城本町二丁目一九番地 山葉樂器朝鮮總代理店
發賣元 釘本樂器部 電話一二八三番 振替京城六八四番

陸軍一等軍醫 野村盛行述 (菊版半截石版表紙…頁數二百三十頁定價…)
肺結核の全治する迄
良い人間の幸福を蹂躪して來た肺病は今日でも猶幾多の醫學者が有らゆる智能を傾けて研究してゐるが未だ完全なる療法が發見されない夫は今日の醫學者が餘りに洋學にのみ心醉して三千年來我國の祖先を諸病から救ふて來た和漢藥を捨てゝ顧みない結果である著者は洋學から進んで和漢藥の研究に入り苦心十年遂に和漢藥相應ぐ肺病必治の新劑を發見されたのを患者に應用して全快者相踵ぐの好成績を擧げられた新劑を以て其喜びを致した同志の士にして此度右卓越なる藥效の經過並に全快者再生の喜びや師の病に全治する迄の全快の狀や實驗談等を詳記せる「オーキホン療法」なる書を刊行しし同憂の士には此際特に實費送料共二十五錢にて頒つ所以である△申込所東京本郷三組町八〇 在天堂

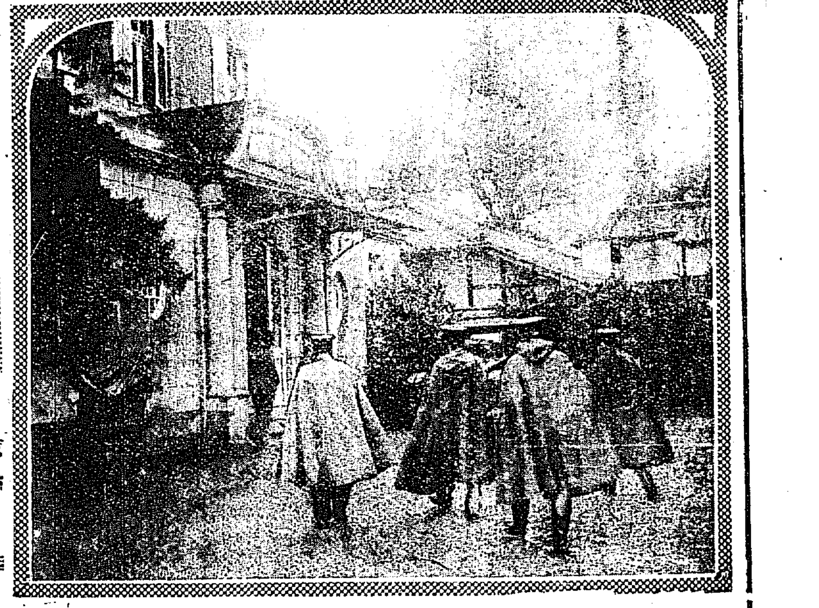
華新 製繩機

今般工場落成記念割引(二年五回割拂)特約店急募他店より試驗的貸出し取引す出張說明致候也 招待書案內呈 大阪大正橋西詰 帝國農產商會

優等清酒

賀茂鶴
醸造元 廣島縣西條町 賀茂鶴酒造株式會社
發賣元 京城府鍾路公平洞 河野商店 電話一〇八番
特約店 龍山元町二丁目 松屋商店 電話六六一番

萬年筆修理と販賣
京城本町 振替二五一七 電話二五二七 ウツボヤ書籍店

簿記用 土瓶入 萬年筆用 專用
●色澤鮮明●永世不變色
プラトンインキ ナチュラルインキ
●市內は御報次第御屆可致候 朝鮮總代理店 京城日報社代理部 電話長六〇〇 振替京城三〇番
卸小賣 特約店 パイン萬年筆製作所 ウツボヤ書店



哀み新たなる寺內伯邸

## 婦人見學隊前記
# 得る處幾何ぞ
## 主婦の學ぶべき事ども
### 軍隊の几帳面な整頓振り　頑い手で繊しい裁縫

共が參觀する步兵第七十九聯隊では富塚聯隊長始め一同非常に此の擧を賛成し

**聯隊長自ら** 說明の勞を取ることゝ迄で居られました、細部に亘つては各委員が順序正しく且つ平易に說明されませう、見學團參加の御婦人は當日新龍山三角地停留場で下車し步兵第七十九聯隊前の空地に乾度午前九時迄には御集まりを願ひます、茲で整揃ひして一緒に營門を潜るのです、時間に

**遲れた方は** 殘念ながら御斷りするより外はありません、營門を潜つたら先づ第一に陣營具倉庫の一絲亂れざる整頓振りを見學し次いで銃工場から兵器庫に參ります、兵器倉庫の前には特に皆さんの爲め各兵器の種類を陳列配置されます、背嚢だの脚絆だの、裝著編上靴だの或は手榴彈、擲彈、十字鍬、小圓匙、機關銃など種々あります

が最も珍らしいのは

**最新式武器** です、歐洲の大戰に鑑み我國で新調した

**鐵兜毒瓦斯除けの面覆** だの澤山あります、銃工場では兵隊さんが細かい仕事をして居ります、入營當時ぶきつした事に何等知識の無かつたものも二年の後には立派な技術を磨き上げ除隊後には各其鄕里へ歸つてから引つ張り凧になると云ふ位です、次に被服庫を見學します、大きな倉庫の戸を開けて板敷きの廊下に立つと

**ナフタリン** の匂ひがぱつとする、六つに仕切られた三階棚の上には一目瞭然規則正しく被服が整頓されてゐます、綿類は綿類、絨類は絨類と分けてゐます、而も是が新品と古品と區分されてゐます、何千何萬の員數も一寸一瞥しただけで分ります、家庭で是丈けの整理が行届いてゐたら

**眞夜の闇黑** でも身につけたいものは自由に著けられませう、用意周到な事は火災持出區分が圖を以て揭示されてゐる事です、假令出火があつても混雜に陥るやうな事はありません

更に感心したのは

**被服の害虫の種類を圖** で說明されてある事です、じんぷい蟲、ひめするかつを蟲、へうほん蟲、小衣蛾、毛氈蛾、ひめかつを蟲、衣蛆等の幼蟲から成蟲迄の變化を圖解し

**此の蟲の姿** を見たものは可服が應でも殺さなければならぬやうに行き届いてゐます被服庫に格納されてある被服の種類は約七十種何萬點あるか分りません、御婦人の方は『まア』と乾度思はず被仰るでせう、殊に被修材料修理材料の倉庫に入りますと御婦人方の

**御馴染の釦** だの絲だのがそれは〳〵澤山何れも正しく區分されて納められてある事です、赤い絲、白い絲、茶色の絲、黑い絲、是等の絲は兵隊さんの頑い手で被服の破れを綴られるのです

## 故寺內伯飲葬彙報
# 御誄を賜らん
## 七日午前十時勅使御差遣

聖上陛下には深く故寺內伯の功勞を思召され七日午前十時特に勅使を伯邸に差遣され維新の前後及び併合前後の勳績等に就き御誄を賜る由尙當日左の如く御下賜の趣洩れ承はる（東京特電）

一祭粢料　一封
一御供物　數臺
一御榁　二對

### 御料理下賜 七日も亦百人前

五日宮中より寺內邸に對し御料理百人前を御下賜ありたるが六日も更に同樣の御下賜あり尙七日も亦百人前御下賜ある旨御沙汰ありたり（東京特電）

### 特旨を以て 騎兵參加 吊砲も發射す

七日寺內伯葬儀には一個聯隊の儀仗兵の他更に特旨に依り騎兵一個中隊をも附せらるゝ事となりたる由にて軍隊は『哀の曲』を發し正規の弔砲を發す（東京特電）

## 李王殿下 祭粢料進供
### 朝鮮からも供物を贈る

李王同妃兩殿下よりは靈前に祭粢料を供へさせられ又李堈公李鍝公兩殿下齋藤總督水野政務總監宇都宮軍司令官以下李完用伯宋秉畯子其他在鮮官民數百名よりも夫々供物を贈れり（東京特電）

## 郡守總代弔問

京畿道高陽郡守閔元植氏は六日午前八時廿五分東京驛著入京し直ちに寺內伯邸を弔問し靈前に香華を供へたり（東京特電）

## 湘南の秋闌けて
# 悲嘆に沈む病夫人
## 氣の毒な多喜子の方　病勢一しほ進む

寺內伯の病革つた去月の中旬急遽大磯の別邸に永い病褥に惱んで居る病軀を運んで我身の苦痛も打ち忘れ

**一心籠めて** 病伯の看護に努めた多喜子夫人の貞淑さには涙を濺さぬ者はなかつた。伯は下座敷に夫人は二階の病室に離れ〳〵に臥して居たので家人が成るべく伯の重態を知らせないやうにと努めたけれども絶えず其事ばかりを心に掛て居る夫人は

**四邊の氣配** で凡そ夫れと推し自由ならぬ身を強て起して伯の病床を見舞ふので自然に自身の病勢も進み、かて、いや増さる臨終の悲歎に伯逝去後の夫人の病は一進一退漸々宜しからず此頃に至ては一入思ひ出多き大磯の別邸に取り殘され芝增上寺に營まれる

**故伯の葬儀** にも列する事が出來ず、之も近頃良人に先立たれて未だ新しき涙乾かぬ柴田未亡人等の優しき看護に慰められ加養して居るが同じ不幸の姉妹二人湘南の秋闌けて波も涙に咽ぶばかりであるとか

# 頗る寛大
## 騷擾學生の判決に就て

六日地方法院に於て判決を言ひ渡された學生の萬歲組に就て山澤檢事は語る『學生等は其將來の心事を斟酌して刑の量定をされたので意外の寛刑に喜んでゐる者もあつたらしい然し被告中には其態度から心事迄憎むべき不遜漢も尠くなかつたやうである本件に就いて檢事が控訴するか如何は未だ言明が出來ぬ又事件の性質から見ても控訴する迄には愼重な上にも愼重な考慮を要する事も角萬歲騷ぎ當時の法律では出版法違反も三年以下の懲役であつたが現在では十年以下に改正されたので萬々不心得者を出だすに於ては假借する所なく十年の懲役にも處し得るのである』

## 改正される
# 陸軍治罪法
### 秘密主義を放れ上訴も辯護も出來る

永い期間問題になつて居た陸海軍治罪法は從來餘りに普通裁判と隔離れて居て一般社會の進運にも伴なはず陸海軍部內でも其非を悟るもの漸く多く、次の議會には愈々其の改正案が提出される事になつたが

**其要旨** は、軍法會議裁判は將官の命令をもつて開始する規定で、原告官即ち檢察官を設けなかつたが改正案では之れを設け、訴訟手續は普通裁判に於けると異なる處ないやうにし從來の裁判は第一審即ち終審で一切上訴の途がなかつたのを改正案では

**或程度** 迄之を許す事にし辯護の制度は絶體になかつたが今度は辯護士を附することが出來るやうにし從來の秘密一點張を全く公開的にし、軍人のみの裁判官に文官裁判官を加へ軍法會議長官の認可なしに判決し得ることゝせんとするに在る、要するに

**軍事上** の利益に悖らない限り成る可く普通裁判制度と同樣に人格を重じ自由を尊ぶ規定を採用して社會の要求に應ずる筈で兆陸海軍治罪法も歐米のに劣らぬ新しい立派なものと成るであらう。

五九郎…の舞臺面

# 飛行機墜落
## 搭乘者は無事

大演習參加の爲め各務ケ原を出發せる寺本飛行中尉は五日滋賀縣阪田郡柏原村にて前逆樣に墜落せるも中尉は無事なるを得た（東京特電）

# 江原道の三人斬り
## 金の上の爭ひから　加害者は縊死

去月二十六日午後十一時頃江原道三陟郡遠德面[illegible]里一四六番地宿屋業[illegible]井豊（[illegible]）同人妻李氏（[illegible]）同家雇人[illegible]富鶴（[illegible]）等三名が熟睡中突然朝鮮式鎌を以て滅茶苦茶に斬り据ゑたる者ありて三名は悲鳴諸共其の場に打ち倒れたるより大騷ぎとなり直ちに警官出張取調べたるが加害者は江原道平昌郡珍富面龍田里油行商人金鳳鎬（[illegible]）と云ひ被害者より金二十圓を借用し居りしが返濟を迫られし爲め十月二十五日爭論し其翌日に至り和解して共に酒を飲みたる末被害者方に於て一泊し[illegible]より約一町を距る南方山中にて縊死を遂げたりと（元山）

# 虎列拉で死んだ人
## 八千を越ゆ

道內の虎疫も昨今大體に於て終熄の傾向に入れるが十一月五日警務局の調査に依れば初發以來の患者累計一萬三千六百七十五名に達し內八千四十名の死亡者を出だしたり內譯は發生內地人百七十三名、鮮人一萬三千四百八十五名支那人十七名死亡內地人一百名朝鮮人七千九百二十五名支那人十五名

# 廣島縣下の地震
## 人心恟々

廣島縣下三次地方の地震は既に震動三十八回に及び人心恟々たり（廣島電報）

# 二萬圓携帶者行方不明

安東縣顧祥洋行店員內地人二名は金二萬圓を携帶し懷仁に赴く爲め鍾城に來る途中三日同地より十二里隔たりたる對岸支那領域に於て突然行方不明となり生死不明なるが右は不逞鮮人に要はれ拉去されたるものと一般に解せられつゝあり（伊藤特派員＝平北鐵城發特電）

## 押賣の罰

市內北米倉町百四十番地飲食店大阪屋事松山しげの（四三）は客月三十一日午後七時頃乘二浦坂本山三菱社宅二十一號社員田代正久（三二）が僅の酒肴を註文したるに註文以外の品物まで調理して押付け田代は手も觸れざりしに拘らず悟て勘定となるや不當にも二圓二十錢を强要せし事本町署の探知する處となり同署に召喚の上科料五圓に處せられたり

## あはれは深し
# 獄中の忠信
### 始めは何も出來なかつたが此頃は裁縫を習ひて神妙に働いて居る　都野川の死を聞いた時は流石に涙を溢した

昨年九月の中旬、京畿道始興郡威北山上に於て演ぜられた强盜殺人事件は朝鮮空前の慘劇として當時の人心を戰慄せしめ犯人都野川義雄の名は未だ世人の記憶に殘つて居るであらう、而し犯人義雄の情婦として

**同じく罪に坐** した當時の藝妓忠信の名も亦未だ世間から忘れられずに居る筈である。義雄は本年の六月九日陰雨そぼ降る中に西大門監獄の刑臺の露と消え其の罪過は既に償はれたのであるが情婦忠信即ち今津りようも亦た

**來月の十日に** は一年の苦役を終へて西大門監獄から放免されることになつて居る。某女監取締はりようの獄中生活に就て次のやうに物語つた、『りようは入監以來溫順しく

**獄則を守つて** 居ります。入監當時は食事など『結構です』と云つて度々辭退して居りましたが此頃は美味しいと云つて食べて居ります。健康狀態もよろしく病氣に罹つたこともありません仕事は何しろあゝした稼業をして居たのですから

**何にも出來ず** 裁縫なども近頃になつて漸く覺えたかゞ位です。それで此頃は裁縫や糊つけをして働いて居ります。都野川が死刑になつた日は陰氣な雨の日でしたから當人も鬱ぎ込んで居たやうでしたが、勿論都野川が死刑になつたことは知らなかつたのです。處がつい此間になつて

**或名士が女監** 參觀に來た時其事をりように口走つたので當人は泣いて泣いた如でした。然し當人は何も都野川に惚れて居た譯でなく御世話になつた御恩報じとして義理立てをした結果、こんな慘めなことになつて了つたと云つて居りますそれから可哀想なとには入監中誰一人として

**當人を訪れて** 來る人もなく、差入物一品でも贈つて呉れる人がないので當人もつく〳〵前非を悔ひ親や友達や蒙庇客などの無情を訴へることもあります。そして出獄の上は故鄕に居る八十に近い父親の下に歸つて是非安心させた上に死なせたいと云つて何時も泣いて居ります出獄後は

**稽古屋でも始** めて父を養ひたいと云つて居りますが京城で居をするとか何とか云ふ噂は當人は全然知らないと云つて居ります。それから罰金が五十圓あるので誰が此の罰金を拂つて呉れるかゞ疑問ですが當人は國の人が罰金を納めて迎ひに來て呉れると申して居る

**藥場とか云ふ** のです。何分罰金が納まるかどうかで放免の日取りが狂ふことになりますが罰金が納まる者とすれば來月の十日の筈です。』

# 第六回婦人見學團
## 陸軍側の好意にて龍山營內見學

時局と惡疫流行にて延期せし本社主催第六回婦人見學團は愈々本年最終の擧行として左の見學を催す筈につき諸姉の參加を乞ふ

**時日** 來る十四日午前正九時迄に新龍山步兵第七十九聯隊營門前に集合の事

**見學** 步兵營內兵士の起居動作給養の狀況＝傷病兵應急手當（家庭にも應用さる可きもの）＝被服倉庫の整頓振（何千何萬と云ふ夏冬の衣服が如何に整頓されあるか家庭にても斯の如き整頓を要すべし）＝縫靴工場の模樣（兵隊のお針）＝酒保（兵隊娯樂の狀況）＝炊事場＝以上は將校より一々叮嚀なる說明ある筈　晝食休憩＝午後一時より特に陸軍よりの好意を以て特科隊の演習あり先づ騎兵の壯烈なる襲擊＝工兵の地雷爆破＝野戰電話架設＝機關銃隊の陣地占領＝血湧き肉躍るの壯觀を見學後に新設無線電信所を見學し臨時解散す

**申込締切** 會員は三百名限りなれば速かに申込まれたし十三日午後一時

**申込** 申込者は往復葉書を用ひ『復』の分にも直ちに發送し得る樣住所氏名を明記せられたし且つ『復』の分が會員證となるが故に必ず紛失せざる樣當日御携帶を乞ふ辨當は各自御持參茶湯等は當食所に用意あり

主催　京城日報社

## 釜山の燒香式

釜山にては本田府尹、吉成在鄕軍人分會長、稻垣知恩寺住職及び各寺院住職其の他官民有志發起の下に七日午後一時より知恩寺に於て寺內伯燒香式を擧行すべし（釜山特電）

## 棋界の名人
### 安東縣で手合せ

北方漫遊中なりし本因坊瀨越五段は數日來安東中なりし中村三段と六日午後六時より公會堂に於て模範的手合せを爲すべく觀覽者多數なる可し（安東特電）

## 薩摩守の罰

六日午後七時頃釜山發奉天行急行列車が京義線將下驛通過の際三等乘客中鮮人男突然飛降り線路に倒れ込みたる爲め後頭部を强打し見るも無慘の轢死を遂げたり住所氏名不明にして乘車券すら所持せざる處より見れば薩摩守を極め込み發覺を怖れて飛降りたるものなるべし

**○樂園洞のボヤ** 五日午後八時二十分頃府內樂園洞二百四十五番地劉今傑方の煙突より發火したるより直ちに南大門消防組に急報すると共に同所巡査が附近の者を指揮し活動したる結果大事に至らず同五十分頃鎭火したり原因は煙突焚火の不始末にして損害は僅少の見込なりと

## 傳染病

京畿道始興郡新東面獸室里山上林一（二〇）は五日總督府醫院に於てパラチブスと診定され其儘同院に收容▲並木町十三番地大賀市（四四）は四日パラチブスにて南山町二丁目六番地山下とし（一八）は四日腸チブスにて何れも總督府醫院へ▲竹添町三丁目百九十番地掘岡政次（二四）は四日赤痢にて順化院へ收容

**○筑前琵琶演奏會** 黃金町三丁目二百四十一番地なる筑前琵琶旭會にては來る十日（日曜）午後六時より同館に於て筑前琵琶披露演奏會を催す筈なるが當日の演奏曲目左の如し

▲君が代 静丸▲敦盛 静櫻▲赤垣源藏 静井▲廣嗣 中佐静范▲備後三郎 静美▲白虎隊 静花▲宇治川（上）静鶴子▲宇治川（下）静菜▲湖水渡 静穗▲山崎合戰 静菊▲松乃露下 静雄▲鉢の木 静春▲村上義光 静照▲琵琶歌舍 静馨▲大高源吾 静杉▲伊藤公 静杉▲高山彥九郎 静香▲蓬萊山合奏 静櫻 静井 静范 静花 静美 静子 旭静 静菜 静君 静穗 静春 静菊▲六代君 稻田旭穗▲粒の浦山 宮旭紅▲菊の礎 山不旭静▲屋島 静香 吉田旭翠▲筑後川 法宗山坂井旭水

## 運動界
# 前景氣盛ん
## 二流爭覇戰

體育協會主催の二流チーム優勝旗爭奪戰は愈々來る九日より龍山鐵道公園グラウンドに於て擧行さるゝ筈なるが本日正午迄の申込團隊は左の十四チームなり

遞信局、東洋協會、京城クラブ、朝鮮銀行、京電、アイアン、共益社、朝鮮公論、靑年會、スタンダード、工業專門校、明星クラブ、醫專校、滿鐵

滿鐵は或は各課として出場するやも知れず各チーム主將は本日午後六時半より長谷川町銀行集會所に集合し抽籤の上對手を定むべしと

**法院對本社** 京城地方法院對京城日報社庭球試合は八日午後四時より太平通鈴木商店コートに於いて擧行の筈


中風を治す藥のあるもの

中風症は多血性の腦疾患で急性になると卒中を發作して死ぬのである。死なざる迄も一生ヨイ〳〵で一日此病に罹つたなれば一生ヨイヨイで過ごさねばならぬ、而も世間には中風を治す藥はないものだと悲觀して絕望の淵に陷る人が少くないが之れは大きな間違ひ、茲に祖父、父母等が何れも猛烈な中風に侵され、既に前年殿も同症に罹れる兵庫縣明石市加古忠兵衞氏は自己が其苦痛に堪へざる餘り之れが治療法を發見することは世人を救ひ一身の爲のみならず世救の結果漸く一新治療法を發見し自ら施したるに效果ならずして全治したるより益々其研究を怠らず

一般に施與するに至り全治の實效續々其病者が夢のやうに蘇へりて完全に根治し得らるゝ事は加古氏に依つて初めて發見されしものと云ふべく若し詳細を知らんと欲する人あらば同氏宛て申込まれば左記內容の冊子を呈送せらるべし

▲內容 中風の性質●中風の遺傳と特徵●中風に罹り易き人●男女何れが多きか●中風と手節●中風の關係●中風と精神●中風と變化●中風豫防法●中風再發と肢體不隨●中風狀態●中風に罹りたる場合の注意●中風の食事●中風の熱●中風の種々●中風の新研究 等多々

のんでキイタラ知らせて下さい よその人にも！

目ニ見エテ ズンズンキク シマズ イタマヌ 井上博士ノ ロート目藥

コレノ通り

眼病を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には（下圖の如き）消毒したる布を添へてある

比較は一點眼毎 目藥の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べて玉へ

（全國各藥店に取次す）價用大瓶一圓大瓶五十錢中瓶三十錢小瓶廿錢

本舖 東京市日本橋區本銀町三 山田安民藥房
發賣元 大阪市東區南久寶寺町二 山田安民藥房

資本金 六百萬圓
積立金操越金 百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話四〇番五八〇 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店 京城府漢江通り 電話五五〇番 振替口座京城一八貳〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申候
又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候


通船出入客　[illegible]枝、同與一、同暐、岩本ゆき、西富さ、松尾直次、同雨子、同常尙、[illegible]六日夜入港弘濟丸一二等船客[illegible]

持兇器窃盜　[illegible]

仁川期米　[illegible]

天氣　晴一時曇

[illegible]一等（二一名）佐々江嘉吉、同美代、同繁子、同君子、中尾亮[illegible]、外八十六名、二等（六二一名）高橋[illegible]、同妙子、川田久萬吉、齋藤誠次郎、栗田又二、春田勝、土岐雪[illegible]、横田虎之助、大楠要、矢野五郎、井口龍三、同律代、早坂得[illegible]兵衞、大橋よし、永持恒平、同忠奈治、同伊代、大江復三郎、松波勝次、日高韻次、金子兼吉、甲斐正一、大林淺一郎、同住惠、同正明、同理子、千歳千代、中島丈太郎、二宮田三郎、久野源四郎、岡本喜代二、中井徳一郎、前田流造、安田幸吉、三等（二五[illegible]）井虎吉、同たね、同敏子、佐竹ひ四名）[illegible]也、森浦らい、江川賢次郎、表屋きぬ、廣瀨敬二、同ひさを、松村[illegible]永井まし、同尚志、同玉つを、上原永四郎、服部[illegible]、金[illegible]、徐[illegible]順、廣瀨壽太郎、山內かゑ、増田[illegible]藤、三等（一二九名）

[illegible]盜犯人は取調の結果平壤生れ住所不定の金斗涉（二二）なる事判明したるが尙刑事と格鬪の際犯人に加勢したる一名の共犯者は其[illegible]じ居れば近く逮捕せらるべく斗涉は前科數犯を有し尙他にも餘罪ある見込なるを以て目下嚴重取調中なりと（平壤）

# 第五版

## 麥酒の原料麥
### ゴールデンメロン成績

鎭海ゴールデンメロン栽培組合第一回大麥ゴールデンメロン品評會は去る二日馬山に於て開催せられたるが出品數百三十點參考品五十餘點にして栽培成績審査の要領左の如し

第一回鎭海大麥ゴールデンメロン品評會開設に際し不肖乏を審査長に亨け審査員諸氏と倶に愼重事に從ひ審査を終了し其概要を報告し以て賞賞授與の申請を爲すことを得たるは光榮とする所なり

本道管內に於てゴールデンメロンを栽培する箇所尠からず而して東萊郡沙下面を除く外未だ之を聞かず本組合の理事者並組合員諸氏の熱誠と帝國麥酒株式會社の協賛に依り開催する事を得たるは將來斯業の發展上裨益する所尠からざるを信ず轉た慶賀に堪へず殊に今回の選品は一般品評會の通弊とする一粒選の弊を避け眞價の品評優劣を判示せんが爲め帝國麥酒株式會社へ販賣したる現品を以て他の品評會の夫れと其選を異にせるは特に賞揚に値すべし

本年八月帝國麥酒株式會社へ販賣の際に於ける鑑定等位を基準とし加ふるに栽培面積及施肥栽培の精粗等を參酌し審査を行へり今其の要項を述べんに左記條項に該當するもの優とし以下之を遠ざかるに隨ひ劣として其の程度を鑑査して等位を評定せり

重量　一升に付參百匁以上のもの
色澤　純良にして變色なきもの
粒形　完全にして未熟腹切れ腐敗萌芽侵害なきもの
乾燥　充分にして赤黑變なきもの
穀粒　雜種なきもの
調製　充分にして芒附著せず土砂の混入せざるもの
栽培面積及反當り生産量の多きもの
耕作の周到なるもの及栽培擴張の意思堅實なるもの

右審査の成績に依れば品質一般に良好にして齊一にして麥酒醸造に適せる誠に欣ふべき現象なり雖往々播種期を失し肥料の施用適當ならず生育不良に陷り收量多からず又收穫適期ならずして雨雪を被むれるもの尠しとせず播種期を始め肥料の施量を充分にし收穫期を早め雨雪に罹らざる樣注意を拂ふは將來最も緊要なる要件なりと認む

而して受賞者左の如し（馬山）
（一等）若林三郎四郎、岡田健治、大島梅太郎、松永榮市、白石宇市（二等以下略）

## 慶北秋蠶狀況
### 前年より何れも增加

慶北道管內に於ける本年の秋蠶狀況を聞くに飼育戸數一萬〇四百七十七戸掃立枚數一萬三千八百二十枚收繭二千六百八十四石にして之を前年に比し戸數に於て五百四十戸を減じたるも掃立枚數二百三十四枚收繭六十六石の各何れも增加を見たり然るに本道に於て最も盛んなる慶州及び醴泉の二郡は桑樹にクロコガネの被害甚大なりし爲戸數及び掃立に減少を來し其の他一般に於ても桑樹の發育を重んじ秋蠶の過度摘採を避けし爲秋蠶飼育戸數減少を來せりと（大邱）

## 慶源より（上）
東仁俣村生

慶源は咸北の東北端に位し雄基港に十九里、會寧に二十里餘り距る北鮮有數の都邑にして目下內地人三十餘戸鮮人二百餘戸を有する所なり官公署には郡廳、警察署、憲兵隊、稅關派出所、郵便局、法院出張所、普通學校、金融組合、面事務所等の外機關銃隊騎兵步兵隊等駐屯せり交通の不便なると邊境の寂寞さは旅行者の何れも一驚する所に候

交通の狀況を記せば會寧雄基よりも道路不完全にして自動車は勿論一臺の人力車さへなく强て求めむとせばガタゝゝの荷牛車を傭ひ得る位に過ぎざるなり其賃金に至りては勿論雄基よりも會寧よりも同じく二十五圓より三十圓を投ずるに非ざれば應ずるものなくして此地方旅行者の等しく閉口しつゝ有之候

而して又此等の荷牛車は其構造甚だ短小且つ粗製にして其車長さは約三尺車幅と同一形の恰も小供の玩具然たるが如く一見笑ふに堪へざるものあり故に普通貨物を携ふる者の如きは二臺以上に傭はざる可からざる僅の行程に多大の旅費運賃を要し誠に言語に絶する有樣に候

郵便物の如き不便甚だしく京城來往の如き普通片道十日或はそれ以上を要し新聞雜誌は便船の都度一時に多數集まり來る等新聞は舊聞と相成る次第に候寒氣は云ふ迄もなく峻烈、加ふるに此地名物の特有たる冬期の烈風は毎年晩秋に起りて翌春迄殆ど絶ゆることなく爲めに毎日數十分の活動も殆ど不可能の狀態に候既に本月も初旬より結氷し始め去る神嘗祭當日の如きは早朝より積雪數寸山野は銀世界と化し日中猶容易に溶けざりしより察するも嚴寒の度合思ひ半に過ぎざるもの有之候

交通の不便、寒氣の峻烈夫れ斯の如くなれば之れ慶源の依然として舊態を改めざる所以なるべく北鮮名邑の地、內地人四十戸を收容する都邑にして未だ小學校の設けなきに至りては國民教育上大正聖代の恨事なりとせむか邑內は官公吏比較的多數を占め而して此等の人々は皆孜々として各自の職務に勵しつゝありと雖も今や彼等の胸奧には時勢の推移と共に刻々一種の不安と暗雲に鎖されつゝ有之候

## 新炭極めて潤澤
### 平安南道地方にては

例年の如く平安南道に於ける本年新炭の出廻りは極めて潤澤にして價格も昨年に比し低落しあり現に鎭南浦に於ける最近の價格の狀況を聞くに上二圓六十錢、中二圓三十錢、下二圓十錢にして之を九月末に比すれば何れも二十錢方下落し居れるが例年の需要期に近づくに從ひ高騰するに比し本年は之に反比例せるより見るも本年新炭の潤澤なるを窺ふに足るべし（平壤）

## 義賊を標榜せる 馬賊の老頭目
### 七十三歳の老海宇

支那滿蒙馬賊大頭目老海宇（七三）は部下三百名を率ゐる此の程ペトナ附近にて松花江を渡り蒙古コルロス管內に向へり爰に馬賊の大部隊ペトナを襲擊すとの情報ありしも其事なくペトナを距る十八支那里の地點を通過せるが賊は長春嶺（ペトナより百五十支里）と稱する小部村に至り使を同地商務會に派遣し『吾等は防備なき市街を襲擊せざるべし されど吾等は何れも靴破れ步む能はざれば速かに靴五百足を提供すべし』と通告し容易に之を徴發して南方に進軍せり賊現はるゝと聞くやペトナより討伐隊行せるも大敗して逃げ歸れりとの事なるが此馬賊頭目老海宇は壯年の頃非常に狂暴なる馬賊なりしが其妻之を憂へ心配の餘り死亡せし後は改心して遺兒の養育を樂み居りしが其息子が馬賊の連累なりとて吉林にて捕へられ斬刑に處せられしより大に憤慨し再び馬賊となり一生馬賊を止めざるべしと堅く誓ひ部下を集めて各地に横行し官憲との抗爭を目的としなるべく良民を害はざる樣部下を戒飭し居れり、されば彼れの名は今や蒙古より北滿洲各地に鳴り響き彼れを馬賊と呼ばず『大統領來れり』と呼び其通過する地方は何れも非常に恐れをなし居れり（奉天）

## 滿洲果樹有望

滿洲に於ける果樹栽培に就き滿鐵農事試驗場にて豫て試驗中なりしが最近に至り果樹栽培事業の有望なる事を確認せらるゝに至り殊に奉天以南にありては最も栽培に適するやに思はる近來支那人間に果樹園を經營する者增加し來れり滿洲の果實としては主なるものは奉果、梨、葡萄にて就中奉果は從來品質劣惡視せられたりしが過般來連せる農學者たる米本博士の說によれば滿洲の果實はカルホルニア產の物に酷似し甘酸の味よく中和され風味に富めりといふ然して從來滿洲は果實の輸入地にて朝鮮より多少の輸入を見つゝあるが將來之が栽培を盛んならしむるに於ては地位を代へて輸出地となり且つ奉果の如き世界の嗜好品たる點より見て販路は現在の交通機關を復活せば露西亞及び歐羅巴方面に開拓し得べし又南北支那地にも需要多く長途輸送の方法と產品の保管方法さへ適當に行はるれば輸出品としての價値充分なるべく滿鐵にては適切なる勸業獎勵の一方法として果樹園經營を獎勵し品種の改良病蟲害驅防等に就きても專門家をして研究せしむべしと（大連）

## 密輸米人捕はる
### 阿片を滿洲に輸入して

長春驛より三十一日朝奉天驛に着したる一名の米國青年が阿片携帶の疑ひありとて乘務車掌より奉天驛勤務川尻巡査に密告ありたれば直ちに驛前派出所に同行して取調べし處同人は米國人コステロと稱する者にて數月前より長春ヤマトホテルに滯在し阿片の密賣密輸を常習とし今回も約一貫匁の阿片煙土を

### 腹に卷を付けて

來奉したる旨白狀したるが長春から奉天迄密送すると阿片煙土一封度に就き約四十圓と云ふボロイ儲がある俺は生活費を得る爲めに密輸を業とするので獨り俺のみならず在滿

### 米國人や支那人

又は露國人も盛んに密輸を爲し現に俺と同車して來た外人中にも阿片を携帶して居る者があつた程であるから俺は之を何等疚しい行爲とは思はぬが發見された以上は沒收さるゝのが當然であるなどと

### 臆面もなく勝手

な理屈を付け果ては『今手付として百五十圓差上之を賣却後は更に百圓を差上けるから俺を此儘放還して呉れ』と妥協を試みたるも一喝を喰はされたる上警署に突出され目下嚴重に取調中（奉天）

## 一萬圓寄附
### 奇特の鮮人と架橋

全州鮮人有志朴庄順氏は曩に多佳亭に通ずる橋梁架設費として金一萬圓を寄附したるを以て全羅北道に於ては之れが架橋に對し競爭入札に附したるも應入札者なく爲めに道直營工事として既に着手し居れば近く竣工するに至れば愈々多佳亭に異彩を添へ且つ一般に便利多からん（全州）

## 平壤栗

本年平壤栗は昨年に比し出來榮極めて良好にして其生産地たる成歡市場取引價格三十六圓より四十圓なるが品質も亦昨年に比し良好なりと

## 米が一斗四圓
### 滿鐵の消費組合 市中の商人は大打擊

去る一日より始めたる滿鐵會社の消費組合廉賣は遼陽にても開始されたるが成程大安賣にて白米一斗四圓を始め砂糖（百斤）白二十二錢、赤二十一錢、木炭八貫俵一圓五十八錢、赤玉葡萄酒九十八錢、菊酒白鹿澤の鶴各一圓七十五錢、龜甲萬九十五錢、金鷄ミルク五十錢、此の外靴下、シャツ、下駄類など諸雜貨は市價と比べて四割平均は廉安いと云へるが因に遼陽の白米小賣相場一斗は特等六圓五十錢一等米五圓六七十錢なれば滿鐵の廉賣は市中に大影響を及ぼすべしと（遼陽）

# 商況

## 株式

### 大阪株式（七日前場寄付）

| 銘柄 | 七日前場寄付 | 六日後引比較 |
|---|---|---|
| 大株 | 三七七、九〇 | 三、一〇高 |
| 同新 | 三六四、五〇 | 一、七〇高 |
| 郵船 | 一三六、〇〇 | 一、二〇高 |
| 同新 | 一三七、八〇 | 一、一〇高 |
| 商船 | 一五二、六〇 | 一、七〇高 |
| 同新 | 一三三、九〇 | 二、四〇高 |
| 鐘紡 | 三八一、八〇 | 一、九〇高 |
| 同新 | 三六五、〇〇 | 一、〇〇高 |
| 東紡 | 二八五、〇〇 | 一、六〇高 |
| 東糖 | 一六三、五〇 | 三、九〇高 |
| 堂米 | 一七九、九〇 | 一、四〇高 |
| 上取 | 一九五、八〇 | 一、五〇高 |

### 京城現株（▲印騰貴 △印下落）

| 銘柄 | 拂込額 | 時價 |
|---|---|---|
| 仁取 | 二五・〇〇 | ▲一七、〇〇 |
| 朝郵 | 二五・〇〇 | 四二、〇〇 |
| 電興 | 一二・五〇 | 一八、五〇 |
| 皮革 | 二〇・〇〇 | 二五、六〇 |
| 東畜 | 一二・五〇 | 一五、五〇 |
| 朝紡 | 一二・五〇 | 二八、五〇 |
| 製紙 | 一二・五〇 | 三七、〇〇 |
| 商銀 | 五〇・〇〇 | 五六、五〇 |
| 同新 | 一二・五〇 | 一八、〇〇 |
| 滿毛 | 一二・五〇 | △五一、〇〇 |
| 朝燐 | 三〇・〇〇 | 三二、五〇 |
| 鮮土 | 一二・五〇 | 二〇、五〇 |
| 東亞 | 一二・五〇 | 四四、五〇 |
| 殖鐵 | 權利 | △三、〇〇 |
| 朝日 | 一二・五〇 | 一三、五〇 |
| 安信 | 一二・五〇 | △四一、〇〇 |

### 出來高平均値

| 銘柄 | 平均値 | 枚數 |
|---|---|---|
| 仁川取引 | 一七四、〇〇 | 五〇 |
| 東洋畜産 | 一一六、〇〇 | 四〇 |
| 殖産銀行 | 一〇八、〇〇 | 五〇 |
| 安東信託 | 四二、〇〇 | 五〇 |
| 朝鮮紡織 | 二八、三〇 | 二〇〇 |
| 東電新 | 三〇、八〇 | 一〇〇 |
| 王子紙新 | 七三、五〇 | 五〇 |
| 鮮銀新 | 一三三、〇〇 | 五〇 |
| 日本毛織 | 一一四、〇〇 | 三〇 |
| 東拓新 | 四七、〇〇 | 五〇 |
| 南滿製糖 | 四二、五〇 | 五〇 |
| 九州電鐵 | 一七九、〇〇 | 三〇 |
| 朝日醸造 | 一三、五〇 | 五〇 |
| 鹽水港糖 | 一五六、〇〇 | 五〇 |
| 東洋製糖 | 一五六、〇〇 | 五〇 |
| 滿鐵一新 | 一五八、〇〇 | 三〇 |
| 殖産權利 | 四、〇〇 | 八五〇 |

## 興鐵公募好況

資本金五百萬圓の朝鮮興業鐵道にては七日より一萬株の公募を開始したるが同鐵道は新設會社の低廉通過地の富源無限なる事浮動株の少なき事主力に東拓、大倉、古川等を有する事第一回拂込金少なき事其他有力材料多く各銀行共申込みは極めて良好の豫想にて無論多くの超過となるべく殊に事業地の關係上平壤方面にて人氣盛んなる由

## 大阪株式好勢

大阪株式市場は六日前場より後場に亘り稍目立ちたる反撥を演じ前日の暴落以前の値頃に引返したるを以て本日前場は幾分呼吸押しを演ずるならんとの觀測多かりしが本日も引續き形勢立直りの氣味を見せ一二圓方の高値に寄付き其半英債一億圓現金償還により其半額は內債發行に決したるも殘り五千萬圓は尙現金にて輸入さるべきを以て歳末金融を樂觀さるゝに至る結果ならんか

## 東洋製糖買氣

東洋製糖株は從來當地にての手合せ稀なりしが今朝來各店に同株の有無問合せ多かりしのみならず本日大阪前場寄付にても他株の一二圓高中同株のみは特に三圓九十錢高を示し居れるは何等か好材料を含めるに非らずやと揣摩せらる

## 仁取尙底固し

仁川取引株は曩に六十八圓の手合せありたるやに人氣を挫きたるが右は殖鐵株の拂込に充當すべく金融上の投げ物に過ぎざりしものゝ如く一般の人氣は尙ほ七十圓臺を保ち昨日百七十四圓にて五十枚の商內ありたり

## 殖鐵權利不勢

西鮮殖鐵權利は最初六七圓の高を唱へられたるが其の後權利株を賣出す者續出したる爲め氣配漸次軟化し早くも五圓臺を割込みて四圓內外に取引され居たるが最近に至りて又もや賣殘れ筋の投げ物山積したる爲め其激落は殊に甚だしく賣物は既に二圓內外に叩かるゝ振合あり右の原因に就いては近來鮮內株式流入高の激增に聊か滿腹氣味なる事も元より一因ながら同株は從來の新設會社に比較して賛成株の割當多く一人當り五百株を下らざると而も賛成人を極めて多方面に求めたる爲拂込を待たずして權利を賣拔けんとする者續出したる結果なるべく而して事業其者が實際の利益を擧ぐる迄には多くの年月を要する事も一般の思惑者に取りて嫌氣投けを誘致する一因ならんかと云ふ

## 兜町だより

前日の迷ひ相場がドチラへ足を向けるかとは一般人の氣に病んだ處であつたが夕刻の氣崩れを先驅として遂に下落の步調を辿るに至つた△英國の大藏證券一億圓の償還に對して同額の內債を發行さるゝならんと稱せられたのが政府は期限當日先づ五千萬圓丈けを乘換へに出すと云ふので金融は愈々ダブ付く譯だから此邊の處を考へると人氣は復も買進んで來はせないかと思はれたので一番東株の模樣は最も市場の注目を惹いた△扨て立會つて見ると東株の當限イキナリ十四五圓安に寄附き夫れから順次に中も十圓餘先十五圓餘を落し新は十六圓餘郵船は十七圓方其他各船も暴落し上毛なごは二十圓方も叩かれ例の日活も十三圓方崩れた弱氣の說に聞くと是は米國に於ける經濟界の影響に因るもので世界的に來たのだと云つて居る△材料は何でも大きい方が受けが好い昨年の暮あたりから買始めて一ケ年間騰り詰めた揚句であるからコヽラで丁度一瓦落あつて適當なところかも知れぬ△是れから一つ大下げのあるものとすれば先達ての米の高い綿糸が六百圓臺の生糸が立停止なんと云ふ高値の揃つたのが抑々の天井で株は一と足先へ失敬したものと解釋されぬ事もない△受渡杯の上から推すと三四箇月前迄は月末に迫ると當限がイツの間にか增加して夫が大抵地方筋へ引かれたものだが此頃は其傾向が減つた處へ十月は滅ツ切り受渡高が妙ない樣な譯だから是は買氣が鈍つたからだとも見る事が出來るが赤筋の巧妙なる鞘取りの商內振りから來たものとすれば今月の玉は高値で取組まれたものゝ丈けに或は大部分を渡されるものとも言へぬ事は無い[illegible]限百餘萬の喰合は買方の爲めに當は重荷でもある△八日間の短期取引は郵船株の新舊を以て五日より其決開始する運びになつた爲め信託が營業の好成績を見越されて買物多く諸株低落せる中にあり午後には六十圓方も跳ね上げ四十六圓買を唱へられた（四日）

㋒浦長商會
確實なる利殖法は確實なる現株に投資せらるゝに限る弊店は利益の御相談に應じ御委託の御用命は低利信託の御便宜を計る
京城南大門通二ノ三
電話長一七三七番
仁川仲町二丁目 電話二三〇番 浦長商會仁川支店
元山仲町 元山支店

# 米況

### 東京期米特電
●七日前場
當限寄付　四十二圓四十五錢
中限寄付　四十二圓六十五錢
寄付　四六、四七
高値　……
安値　……
止め　……

### 大阪期米特電
●七日前場
當限寄付　電文不明
中限寄付　四十三圓二十錢
七日前場寄付　四六、一八
高値　……
安値　……
止め　……

### 神戸期米特電
●七日前場
寄付　四六、一九
高値　……
安値　……
止め　……

## 仁川期米
### 七日前場

今朝天候晴天各地入電未着なるも前日阪地の氣丈に人氣緩まず當限四十四圓九十錢中四十四圓四十三圓四十錢と八丁高に始めしが力全の猛烈賣りに鮮人筋の買物も躊躇して逆に賣氣を催したれば二十六錢と軟弱に陷らんとする折しも⑦の優勢買に丸安團の買添へも加り容易く下支へして三十錢摑みを採合ひ九錢と引

▲第二節　當出來ざるも中四十四圓二十一錢と手堅きに先限も牽制され三十錢より二十八九錢を持合ひに引

▲第三節　當限四十四圓五十錢中二十五錢より⑦の利喰ひに八錢と引締まり⑦の利喰ひに六錢と持合ひ先二十七錢より六錢と弱みしが押目は團⑦④の買に七錢と手堅く引

▲第四節　當出來不中中二十五錢と⑦の買に始めしが只店より猛烈に崩れ物は又日先の二十錢と下押し丸安の跳返しも⑦の利喰ひ賣に五錢と小爭ひに引

▲第五節　當出來不中中四十四錢より四錢と接けて先三十錢より四錢と騰ね折柄カ店の猛烈賣に團全の賣添へありて廿二錢と安値止めに激會せり

## 戰機熟せず

當中の强硬に促進されて場面下落ぶりの光景なるが戻りは鮮人筋の總買の利目薄く目先買の手詰め急ぎのみか動もすれば下反撥力鈍ぶき傾向なるが四十三圓二十錢臺は鞘關係より買物相當に伏在する模樣なれば此邊尙一高低ありし取組の增加と相俟つて持合ひ破れの大波瀾を見るに至るべし

| 七日前場 | |
|---|---|
| 寄付 | 四三、四〇 |
| 止め | 四三、二〇 |
| 高値 | 四三、四〇 |
| 安値 | 四三、二〇 |

| ▲公定相場 | |
|---|---|
| 一節 | 四三、三〇 |
| 二節 | 四三、二九 |
| 三節 | 四三、二七 |
| 四節 | 四三、三三 |
| 五節 | 四三、二七 |

七日出來高　廿九萬二千五百石

| ◇帳入値段 | |
|---|---|
| 當限 | 四十四圓九十錢 |
| 中限 | 四十四圓二十二錢 |
| 先限 | 四十三圓十九錢 |

## 七日後場（反撥）

前場引際力店の賣に鮮人も又好く賣りて仲力を壓迫され二十二錢と不勢に打止めしが後場は大阪の止め高に人氣俄然沸騰して當出來不中中⑦賣に四十四圓二[illegible]物團田に[illegible]一錢と返し三十七八錢を採合ひに引

▲第二節　當出來不中三十錢より四十錢と飛び先⑦團の盤廻しに三十九錢より七錢と摑み一氣に五十錢と新高値は躍進し高値

## 市場雜觀

例年當月頃は新米出盛期と云ふので買方幹部は斷然手を染めず人氣は鮮人筋の總買りと化して居るも中限に多額の買建てを有する中村一派は最後の決戰を目論見居るのか更に利喰をせず益々玉締め態度に出るので連備に新値に躍進せんとする傾向である▲先限も其割り伸び鈍きと云へ知らずゝゝに牽制されて昨後場は前日の新高値に顔合せしたが此調子では內地の崩落を移すか又は當中の解決を見るまでは眼先安値は望難く思ふのみならず斯の如く値惚買りに逸りては煎れ高相場の灰汁拔きを行はざる限り局面の轉換は地場が許すまい夫れとも正米でも味方すれば兎も角產地は益高値を維持し値は賣惜むと云ふ農家の態度に開闢以來の珍値を主張し斷然安値は聊か軟派も理想が夢想と化したに逃るゝはない去れば現當限の如き最早二十日內外の餘日しか無いに未だ渡米準備の出來た噂もなきのみか▲現在の仁川在庫米を全部渡しても萬石に口が切れると云ふ狀態である夫れに渡米と思ふ米は僅か一二千石に過ぎないので跡は殆んど强氣側の手持ちであるから一萬七千石の[illegible]月の中旬迄には騰くとも二三萬石の出廻は左程背を折る事もあるまいのみか其內には如何なる轉化を來すやも計られねば軟派側の買煽りは大に警戒を要するのみならず刻と新米期接近の局面轉換は其暴落も激しいとは下げ贊成の觀測

## 各地正米市場

釜山三等正米　四十四圓八十錢
仁川　同　同（保合）
群山　同　同
大阪に於ける群山三等正米四十六圓八十錢

## 粗布吏に昂騰

一昨後場の大阪三品休會と行過ぎ案じとにより昨朝行間への振合ひとなりし當綿布界も昨大阪三品の立會ひ開始と共成行きが一時懸念されたるに反し依然頑强を保ちたるが爲め先づは安心と手持筋は愈々眼先の高値期待に瞬を固め來れるものゝ如く今朝は尙買人の意氣を揚ぐる至らざるも兎角唱へば底强く殊に三エー票の如きは現物の品ガスレを幸に勢ひ益々猛烈にて一部唱へは五百九十一二圓を唱へ愈々理想値の六百圓近くに漕ぎ付け來れるが既に米糸輸入の企さへ傳へられ而かも本邦綿糸に比し二三割方低價の採算に當れりといへば糸に織布に行過ぎの觀ある本邦綿糸布の價格は果して尙賣餘地のあるや否や

## 皮革類强硬

米國皮革類は本年五六月頃より異常の暴騰を續け昨今尙價格低落の徴候を認むるに至らず當市中氣配も九月初め頃より漸騰を續け昨今にては米利堅象皮百斤二百四十五圓キップ一坪二十八錢處を唱へられ何れも二割五分乃至三割方の暴騰を見るに至れるが象皮の如き現下尙本國相場の採算に割安の觀あるが如く或は今一段の引締めを見るやも測り難き形勢にあり內地製品も亦之に連れ居れりと雖も象皮の如き目下鮮內製品二百圓內外にて去る八月頃より約二十圓方の騰勢に止まり此間米國品との値開き擴大を告げ其他甲皮に至る迄同樣の狀態にあるを以て勢ひ低廉なる製品の需要を促がし來るは當然にして茲米國品の新規輸入手控へと俟つて近來內鮮製品は荷動き頗る活潑となり一時ス皮の如きは今や二三等品殆ど荷除きとなり且つ原皮は支那皮の輸入と各地の跡高を受け內地氣配は非常の勢ひにて昨今之が移入望み難き事となり本品は此處殆ど鮮內の製品を以て供給を充たし居れる有樣なれば各製革工場には製品の停滯なきのみならず何れも當用の製造に逐はれ居れり

## 在庫穀物現在高

十月末日の京城雜穀在庫高は左の通りにて其內大豆は前月中旬の現在高に比し七百叺粟は約七千袋の增加を示せり
▲大豆一四、四九八叺▲麥二一、五叺▲小麥八、一七〇叺▲粳三一、五叺▲荏子七、六叺▲糯五〇〇叺▲糯白七九一叺▲小豆一八、六八叺▲胡麻二、二〇〇叺▲雜穀七、六〇三叺▲粟五九、九三二袋▲綠豆一、四五六叺

## 京城正米市場

新米の出廻り遲れ古米の減少上一部には錬入不足さへ傳へられ相變らず手堅く一兩日來見送り來りし精米筋も用買の必要を感じ强硬となり今朝は地場上米四十四圓六七十錢並米四十四圓と昨朝來三三十丁方引締まれり

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
㋐齋藤榮之助
電話長三六七、三六九 略號（サ）又（ヤマサ）

## 仁川正米市場

當正米市場は期米の一高一低を移して人氣區々を唱へ居れるも更に商談行はれず氣配としては結局持合ひの商狀なるが如し

## 釜山正米市場

內地期米安持合ひを入れ當正米市場又持合ひにて新穀良都四十八圓八九十錢三等神力新四十八圓三四十錢にて五百石古四十五圓十錢處にて二千八百石何の商內出來せり
▲大豆新二十七圓十錢處にて七百叺古京畿物二十五圓釜物二十四圓五十錢處を唱へ居れども品薄にて商內閑散なり（七日釜山特電）

## 燈油漸騰氣勢

燈火油は需要期とて買氣增大せる折柄米穀輸送非々行はれ且つ目先陸軍大演習にて各地への送油澁滯を免れざるより先高を見越して一層買氣旺盛となり前月下旬以來需要に追はるゝ姿にて市況漸騰し東京平均市價並物九圓三五十錢見當と上進したるが米油は依然製鍊間に合はずして供給の減退を免れず又內地油は大假品薄なる爲め英油獨り供給に勉めつゝある狀況なれば市價は處に依り一定せず既に突飛相場を呼べるもあり而して米油並に內地油側は値上げの意嚮略一致せる如くなるも去る八月米油の大値下げに足を掬はれたる英油は昨今入津頗る圓滑にて値上げの希望なく勉めて販賣區域の擴大を策し居れば一寸妥協は難かる可く十日の各社會合の結果は今俄に逆睹し難しと謂ふ可し▲揮發油器械油蝋油は何れも手堅き商狀を示せり

## 平板行間へ

過日來徐々上向き步調なりし亞鉛引平板は原板との採算上漸く行間へ模樣となり氣配稍々軟味の傾きあり相場としては昨今三十番の三圓七十錢見當にて僅か十錢內外の引弛みを見せ居れるに迄なるが眼先割高觀の折柄丈けに今一押しあるや知れず

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
仲買店
電話長一參七・二六二・五五五

# 演藝案內

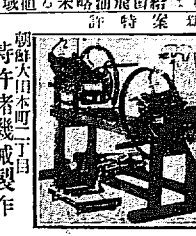
◎喜樂館
本町一丁目　電話九七番
當る十一月七日より提供映畫
▲喜劇 チャプリンの大冒險　米國ヴァイダグラフ會社特作映畫　全五卷
▲社會劇 正義の車　名優ドロシー・ケリー孃、ジエムス・モリソン氏主演
[illegible]

◎浪花館
京城明治町　電話二六〇
當る七日午後六時開演
浪界の新人 桃中軒富士丸一行
▲赤穗義士銘々傳　桃中軒富士丸
▲浪花色島　吉川小富士
▲水戶黃門漫遊記　桃中軒八重勝
▲武士道の鑑　吉川秀龍
▲金門北路の梅　立花龍山
▲宗吾神社由來
▲義烈百傑傳　富士右衛門

◎大正館
櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞會社代理店
▲新派悲劇 佐原の喜三郎　日活京都派本年十月新規撮影　全六卷
◎米國インス會社特作 ▲人情活劇 火の海　全六卷
◎ニコ喜劇 幽靈畫工　全貳卷

▲舊劇 宇都宮釣天井　お芝居にて有名なる怪談話　日活會社本年度新規大撮影
[illegible]

御召工合良き靴
定價表呈 要二錢券
東京芝區櫻田本郷町角
內田靴鞄店
電話芝二[illegible] 振替東京六一七七番


特許諸機械製作
朝鮮大田本町二丁目
眞崎出張所
振替京城六二六七番
▲特約店募集▼
新案特許

專賣特許
眞崎式素麵機
八齒式製繩機

外科 內科 皮膚科
京城旭町一丁目　電話一七三六番
島崎病院
院長正六位勳四等 島崎[illegible]
入院隨時御申込

パイン萬年筆
正宗は切れるが故に名高く
パインは書けるが故に名高し
米國製正十四金イリヂウム付ペン付　金參圓八拾錢
BB形太軸　金參圓八拾錢
同上無飾　金參圓八拾錢
安全操出式金飾付　金八圓八拾錢
同上無飾　金六圓八拾錢
最新彈力吸入式　金五圓八拾錢
安全インキ止實用向　金參圓八拾錢
同上特別金飾付　金六圓八拾錢
同上無飾　金四圓九十錢

京城日報代理部
振替京城三百番

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町二丁目
電話長五八番 振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務並に御便利に御取扱申候
爲替取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之

梅毒 りん病 ひえ 一切除去ものは
一日毎にどんどん見へる効めが
毒掃丸
ばいどく りんびやう ひえ こしけ
世俗四十八癖と稱する病に大効あり
本劑一名一月丸と稱す如何に其效能の確實なるかを知られよ
定價 廿五錢、五十錢、一圓、二圓、三圓、六圓 送料小二錢中四錢大十二錢
本舖 東京神田花房町 高屋
大阪 山崎帝國堂

男女 生殖器病 無代進呈（圖入り說明書）
りん病 なほる 手輕に
藥で治らぬ男女生殖器發育不完全機能の衰弱冷え子宮病こしけ消かち不妊症神經衰弱包莖等を一人で
專賣特許自宅安全自療法
東京京橋木挽町[illegible]
新療法研究所

◎驚ろく程安くて地のヨイ◎
輸出羅紗
マント廉賣

戰時中に製造か間に合はぬ程外に歡迎されし輸出羅紗は昨今輸出か下火になり値も下つたのを幸に今回
新流行形で左の三通りに仕立上げ實物廣告のため先着百着限り特に提供す、地合密にして實用に適し又服裁は時候に六七十圓の舶來羅紗製と同じです今日の好機會に後れず御注文あれ
將校マント　二尺九寸九圓五十錢、三尺十圓五十錢、三尺三寸十一圓五十錢、三尺四寸十二圓五十錢
二重トンビ　三尺七寸十三圓五十錢、四尺十四圓五十錢、三尺七寸十七圓五十錢、四尺十八圓
ムジリ外套　三尺七寸十三圓五十錢、四尺十四圓（全部山尺）
△色合は霜降と茶褐色の二種あり◎切れ地見本はハガキで御申越次第至急無料で郵送す◎御注文は代金引換で送る◎送料不要◎ハガキで
發賣元 東京市芝區愛宕町二ノ一 東京輸出羅紗商會
振替東京三七七〇五番

豫報 [illegible]
氣溫 [illegible]
氣壓配置 [illegible]
[illegible]

# 伊達騒動

小金井芦洲講演

第五十二席

## 母親毒死を勸む

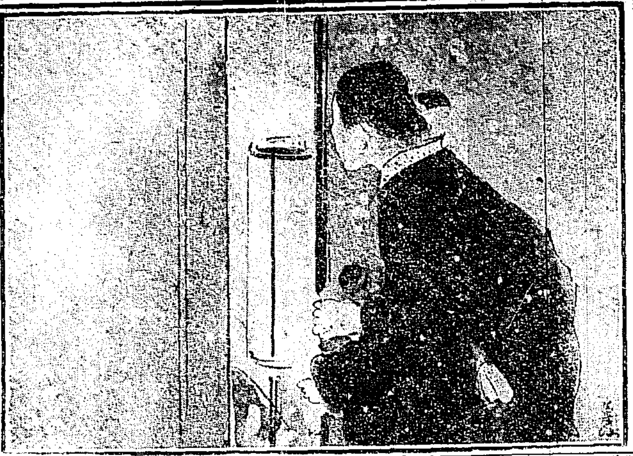
丹『イヤ、死んで仕舞ふ譯にも行かぬ、吾が死んでしまうたら年老いたる阿母さんが誰を便りに此世の中をお送りなさらう、夫を思へば死ぬにも死なれず、兎やせん角や……』と萬感胸に迫つて果は兩手を組んで又起上がり眼を閉ぢて思案に暮れて居りました、折柄合の襖をサラリと開いて母親が 母『是りや丹三郎』 丹『イヤ、是れは母上でござりましたか』 母『未だ休まつしやいませぬか』 丹『ハイ、何うやら胸苦しい儘に寢もやらず居りますでございます』 母『先刻戻つて來てから何うも爽かならぬ其方の顏付、何か心に結ばれがあらうと思ふが、今日廣尾様へお招きになり御後見の前で不調法でも働きましたか』 丹『これは又恐れ入りました、決して不調法は仕りませぬ』 母『然らば何か大切なる御用でも仰せ付かつたのであらう』 丹『イエ、別段に是れと申す程の……』 母『ない氣使ひはあるまい、思ひ内にあれば色外に現はれる世の諺、自然と表に心配の態、親一人子一人限り云はぬは水臭し、夫とも母に心配をいたしても構はぬことは心得て居るのか、さても〳〵』 [illegible] しい氣合に引替て今宵に限り斯る行ひは心得難い』 恨みがましく云ひ放たれて丹三郎『へ、ツ、恐れ入りましたる此の母のお言葉、然らば是非なし、申上げませう』 思ひ切つて申上つて今の障子襖を徐ら打明け放し、

以前の如く席に著いて 丹『エ、……』 倅て母上、今日廣尾様より火急のお招き、何事ならんと罷り出でましたる處御後見役兵部様、御相並んでお奉行原田甲斐様、御先君綱宗公は二代の君のお胤(たね)、御席の上仰せられまするには、『此の御子の當御館、此儀に差置きなば瑞巌寺殿の御血統は絶ゆる次第、正しき御血統は伊達兵部様、其の御子息の市之正様であるに由つて是れを以て御家督に相立てんと云ふことは常々内評定によつて相定まつた、就ては私市之正様へ御奉公の手始めとして明朝御館様へ毒を奉れ』との仰せ、否まば立ち所に一命も召されんの有様、據ろなく御判仕りまして我家へ立戻りましてございまするが、熟々考へまするのに餘りと申せば御痛はしく如何なさんと思案に餘り、途法に暮れ居りまする、斯く母人へ打明けて御相談をいたしますれば、是れは如何いたしてよろしうございませうか、御賢慮にあづかりたう』 母『子を見ること親に如かずとの古人の金言、思ひ外に現はれて母人よりお咎めを受けました次第 [illegible]

……丹『其の御兩人も一つ腹に松前鐵之助様、乳人役の淺岡樣へなど返り忠をいたしたならば如何なものでございませう、松前淺岡御兩所まで倅は加擔の一人となり、然らば御後見田村様の御守様に願ひ出でたら如何なもの』 丹『エゝツ』 丹『其外お國表は十八館 [illegible] ……なる、速かに返り忠をなしお館様の恙なきを謀り奉るのに何の仔細あるべきや』 丹『イエ、其儀にございます、返り忠致すべき先がございませぬ』 母『お守役 [illegible]

お館の方々皆連判状に加名血判を遊ばせられ居られます』 母は唯一言もなく下俯向いてあつたりしが 母『アゝ、情なの世の中や、今が今までお附人、松前淺岡の御兩所は誠忠無二の方とのみ思ひ居りしが、能く〳〵御家の御運の盡きたる所、假令御人は非も無きことながら、其方は [illegible] は惡事に與することも [illegible] に這入ることは此の母が許しませぬぞ、コリヤ倅、明日其方の番なるを幸ひ、其の膳を喰つて若君の身代りとなつて相果てな [illegible]

[illegible] 宵には歸ら [illegible] の御前に出けられた [illegible] 母は驚きれて腎臟の開明三郎の顏を打眺めて居つた 母『倅もく』 恐ろしや兵部様甲斐様、夫れや皆揃へてござりや、御血統が違いなど、一家中を偽り御本家を揺なさんと云ふ恐ろしい謀の人々、其方また何を不圖に苦しみ [illegible]



京城の名物(南大門通り) カフエータイガーの 洋食 こすき焼

支那栗 さい』 こんな美味も珍味も及ばぬ純粹の支那栗が參りました。『ブンワリ』『ゴ』の點は平壤栗以上で京城に始めて來ました。他店に見られぬ名栗で内地の御土産や御進物には好適品で御座います、御注文次第速達に拘らず御届け致します 京城本町貳丁目壽町入口角 中川風月堂 取次電話五六番

## 平南の實棉

平安南道中和郡祥原南市場に於ける最近實棉取引状況を聞くに同市場上等品一斤につき四十八錢にして中等品同三十九錢、下等品同三十二錢なりしが祥原市場上等品一斤につき三十八錢、中等品同三十七錢、下等品同三十六錢、取引總高二千五百斤なりと

● 種苗組合會議(大田) 大田種苗組合にては三日役員會を開き本年生産せる桑苗分配に就き協議する處ありたり

## 暦

十一月九日 (舊)九月十七日 日曜日 ▲きのえうし ▲先勝 ▲房 ▲みつ ▲五黄

▼五黄 ▲何となくこの忙しき日
▼六白 ▲表面は愉快らしき日なれど内實餘り香んばしからぬ日
▼七赤 ▲心正しければ吉運に逢ふべき大切なる極めて好き日
▼八白 ▲或は思ふ樣にならぬあるや知らねど辛抱すれば吉
▼九紫 ▲ちよつと見掛倒しの日
▼一白 ▲慾心は禁月にす可き日
▼二黑 ▲無し過ぎて氣の焦立つ日なれども調子に乘は宜しからず
▼三碧 ▲思ひ設けぬ事にて喜び日なり但し心不正なれば不可
▼四綠 ▲業務上又は男女間のことにて喜ぶこともあるや知れず

ガーゼ 西洋タオル 浦一手販賣 京城若草町四〇 上月商店 電話一〇三五番 振替京城五三三番

急告〳〵急告

# 毛布 暴落 買時

本毛製特別大判(防寒用 優良品) 金三圓廿五錢(一茶 鼠 カーキ色)

軍隊用と歐州輸出の爲に製造されたものでとても買付けられぬ毛布も休戰以來の大々的下落は遂に破産者續出の悲慘を來し是を救助すべく今日迄の持越品一手に引受何らゆる物の高いのに非常の低價(代償)にて奉賣す(優良無比の新品)旅行家は勿論防寒用として誰れでも無くてならぬ必要品 ハガキで申込次第送る 小包郵便で御注文に付代金引換にて發送すれ其の人は御支拂下されたし 東京神田株式會社東京毛綾伸織店

# 黴毒も淋病も 安全に治る

帝國醫科大學の名譽を擔ひし藥劑士栗井先生指導の下に當所の新發明薬劑が研究せる藥化學療法は在來より行はる・自宅療法と其の趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主として完成されたる現代に於ける療法なり 東京藥化學研究所 東京市本所區向島小梅町 ハガキに病名を記し申込あれば彩色圖入解説書並に藥品を送る

# てんかん

病むとコドモのヒキツケはドンナ重い病でも自宅でヒミツに治す事が無代で致し方ヒ切手三錢送れ 名古屋市南小川町 救生館

彩色肉筆 男女 他に類のない最も新しい彩色濃艷美人男女共遊び内容品は見るとの種 三十錢送れ一切手一割増 東京神田區錦町三ノ六 錦寶堂

強胃消化錠 八木田博士推奨 島田博士御鑑査 アナタの胃病にはマーゲン 本劑の特色 二博士御推奨の本マーゲンは從來の胃病藥と異り共卓效は根本的に胃の機能を盛んにし消化を強くし食慾を増し胃腸を治し潔く胃を強壯にす 大阪市東區上本町五丁目 田畑保樂房

特許 不知火 石油 專賣 特許 不知火 石油 は在來の石油焜爐の如く不便な物でなく旅行や不時の來客其他火急の場合等御座敷の上で即時に湯も沸き御施主も出來前も便利なる事既に定評あり是非御試用を乞ふ

イ 木炭用火鉢付 一圓五十錢 八十五錢入圓五錢 八十錢八寸 四十錢

定價 家庭用一號 旅行用二號 同 同三號 同 乳器付 溫包 小 料 [illegible] 京城日報代理部 振替京城一二〇番

# てんかん

ヒキツケル病で御困難の方に正しき良藥を高家に有り返信料添付申込の方に直に詳報 兵庫縣明石町 辰巳病宋所

# 贊化病院

京城府黃金町一丁目 電話二四四番 內科 小兒科 入院隨意 醫學博士 古城憲治 施療す 醫學博士 打田義芳 毎日五名を限り

りん病 淋病 急性慢性を問はず輝さ博士發見の新藥を配合せる淋濃を御用ひなされば全治速なり 藥価一週間十二圓七十錢 四週間 [illegible]

ルーデサック 特製品 A十個五十錢 B十個 廿一錢 女廿三錢 七十五錢 卅八十錢 一圓五十錢 廿一個 三十錢 形 一個 一十 代用一打一圓 郵券 增 廿五錢送料不要 京城黃金町三丁目 振替京城一二七 山田文殊堂藥房

# 最新刊

## 支那に遊びて

[illegible]

▲日本音樂と婦人 ▲現代生活と婦人 ▲國際聯盟論 ▲ 月給生活 ▲ 食の衛生 ▲ 資の研究 ▲ 小山白藝 ▲白蓮 ▲讀書法 ▲ 西鶴 ▲ 讀經文史 ▲ 時の作法 ▲ 滿洲の全面地圖と通覽 定價二〇〇 送料八 ▲ 是でも心得と讀むべし 定價各九十五錢送料各六錢 第七八九十錢 [illegible]

京城本町一丁目 大阪屋號

朝鮮總督府遞信局 購買組合指定店 京日代理部

# 菊の花咲く頃

ホーカー液の需用は日に〳〵激增!

今が肌アレ豫防に一番大切な時季

朝夕怠らずホーカー液をお塗けなさい

肌アレを防ぎ――色白く美人となる

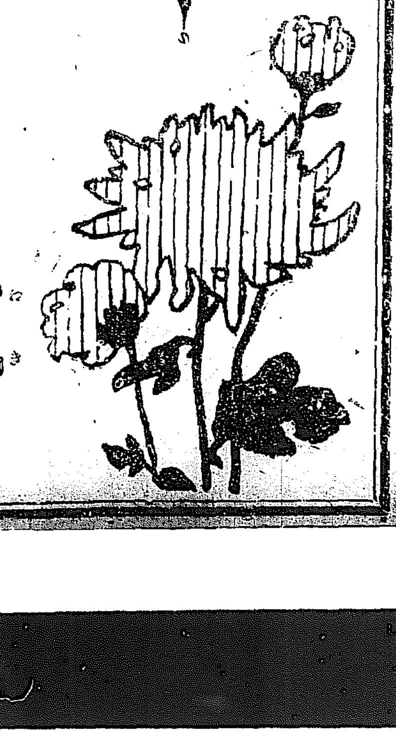
東京で一番よく賣れる家庭化粧料

寒くなつて肌のアレるお方は今からホーカー液をお塗けになれば決して肌荒の心配なし

□キメを細に色を白くす
□日ヤケ肌アレを防ぐ
□白粉下トキ水によろし
□子供の皮膚を丈夫にす
□髯ソリ後に塗めて妙

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液 ホーカーパツト

# ホーカー液



東京神田和泉橋 本舖 堀越嘉太郎商店 電話神田一四三・一四四・二四五 振替東京一五六

全國賞牌廿四個受領

美味 滋養

まだく健康になる

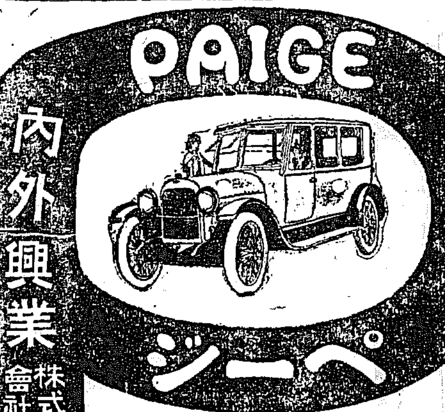
創業以來四十年間 日本一の賣行ある

# 蜂印香竄葡萄酒を

常に缺かさず召し上れ

毎食前一杯づゝで となたもまだく健康になる!

東京本町 株式會社 近藤利兵衛商店





內外興業株式會社自動車部

自動車界の寵兒 ページ自動車

最も古き經驗を有し好評嘖々眞に信ずべき美麗なる自動車

本社 東京麴町有樂町一ノ五 電話本局(四)二一一七 二一一八 二一二九 三〇五一 三一一八 四〇四六

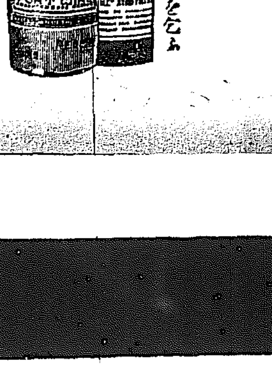
支社 大阪堂島中一 電話北四八一一 神戸北長狹通 電話三宮一五二 京城長谷川町 電話一五四二 大連大山通 電話一六〇三

朝夕の一杯 百藥に優る

# 赤玉ポートワイン

七博士推奨の 美味 滋養 葡萄酒

赤玉葡萄酒は 健胃 補血 興奮 强壯の効最も顯著にして一般治療上缺くべからざる滋養料として今や各藥局に採用せられ益々その偉效を醫界に認識されつゝあり 加ふるに其特別醸造法に於て自然の美味を最も豐潤に保有せしめ得たる特長あるを以て 婦人小兒の口にも適し老衰を防ぎ精力を增進する効に至ては 蓋し決して他の追從を許さず



類似品多し◎赤玉と御指定を乞ふ

## 汽車時刻

京釜線 南行

| 驛 | 前 | 前 | 後 | 後 | 前 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 南大門發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 龍山發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 永登浦發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 水原發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 平澤發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 成歡發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 鳥致院發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 大田發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 金泉發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

京義線

| 驛 | 前 | 後 | 後 |
| --- | --- | --- | --- |
| 南大門發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 龍山發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 金村發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 新幕發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 黃州發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 平壤發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

京元線

| 驛 | 前 | 後 |
| --- | --- | --- |
| 南大門發 | [illegible] | [illegible] |
| 龍山發 | [illegible] | [illegible] |
| 議政府發 | [illegible] | [illegible] |
| 東豆川發 | [illegible] | [illegible] |
| 鐵原發 | [illegible] | [illegible] |
| 平康發 | [illegible] | [illegible] |
| 安邊發 | [illegible] | [illegible] |
| 元山着 | [illegible] | [illegible] |

京仁線

| 驛 | 前 | 前 | 後 | 後 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 南大門發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 龍山發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 永登浦發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 素砂發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 朱安發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 仁川着 | [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

兼二浦線 / 鎭南浦線

| 驛 | | | |
| --- | --- | --- | --- |
| 兼二浦發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 黃州發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 鎭南浦發 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 平壤着 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

京城日報
（年中無休刊）
本紙定價　一部金四錢　一ヶ月金九拾五錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

# 京城日報

## 教育費の地方分擔

豫め鮮人の覺悟を促す

朝鮮の普通教育が、來年度に於て注目すべき擴張充實の計畫あり、之に要する經費の不足を國庫の補給に求めつゝあることは、既に世間に周知せられたる事實なるも、其の內容の詳細に至りては、今猶當局者中の秘に屬するを以て、之を評論するの時機に達せざるも、要するに時機の要求に逆ひ、年限を延長し、學科の程度を高め、學校を増設して一層普及を圖るに在るは推察するに難からざる所なりとす。蓋し內地に於ける六年義務教育制は、其の實施後、未だ多くの年所を經ずと雖も、之を歐西列邦の七年乃至八年に比するときは、頗る遜色あるを免れざるを以て、國論の要求は翕然として之を八年制に延長するに一致し、今や唯其の時機と方法との調査研究に進みつゝあり。此際に於て獨り朝鮮のみ貧弱なる四年制を維持するが如きは全く時勢に適合せざる所なるを以て、少くとも之を六年制に延長するとは、蓋し避くべからざる所なりとす。然るに從來朝鮮の普通教育費は、全部國費の負擔に屬するが故に、現在のまゝにて單に年限を延長するとしても、猶五割の經費激増を見ざるべからず。若し之に加ふるに學校增設を以てするときは、從來の經費を倍加するも、猶其の不足を訴ふべし。之れ當局者として經營の苦心の存する所にして、果して其の計畫の如く、中央國庫の補給を得さすせば、來年度だけは先づ以て其の見込通りの實行を示し得べしと雖も、十年度以降は更に、其の財源を計求せざるべからず。而して年々歲々中央國庫の補給を仰ぐが如きは恐らくは豫期し得ざる所なるを以て、結局は之が幾部分を朝鮮地方費に移すの止むを得ざるに至るべきなり。國費を以て普通教育費全部を支辨するは、理論上正當のことにして、殊に新領土に於ては必要を認むと雖も、之が爲に經費の不給を來たし、教育の充實普及に頓挫を來す如きことありては、獨り鮮人の不幸たるのみならず、國家も亦從つて損害を負ふを免れ得ざるが故に、たとひ內地同樣に其全部を地方の負擔に屬せしめずとも、或る程度までの負擔を分つことは、實際に於て避くべからず。況んや一歩進めて之を義務教育と爲すの時期に到達せば、其の經費は素より一層増大すべきを以て、到底國庫の支辨に堪へざるは數の見易き所なるをや。此の激增の形勢に在る教育費を分擔するは、鮮人の苦痛たるに相違なしと雖も、元來其子弟の爲にする所なるを以て、忍びて其義務に就くの覺悟なかる可らず。吾人は曾て鮮人の口より教育の充實擴張に關する要求を聞きたり、或者は直に內地同樣に義務教育の實行を迫れる者ありき。吾人は皆之を有理の言と肯諾するに躊躇せず。如何鮮人にして其子弟の被教育の權利を主張する以上は必ず費用分擔の義務を辭するの言あらざるを知る。吾人は目下の計畫に於て、當局が果して地方費賦課の決意あるや否やを知らずと雖も、早晚時の到來すべきを想ひ、豫め鮮人の覺悟を促し置くの必要を感じ、爲に之を一言することゝ爾り。

## 新宗教を宣す（五）

宮崎虎之助氏講演

幾千年來の人間の生活は此の宇宙の根本目的を成就せんが爲めである。歐米淨土眞宗濟藤士と云ふことは基宗の說く所であるが、夫は凡夫の考へである。けれども茲に預言者の現はれた以上は、斯る凡夫の教へは許さない。然や親鸞は凡夫で通ることを許さないのが此の預言者である。一文一錢の金もない人間に向つて百圓の稅金を出せと云ふのは無理な話である、身には襤褸を纏ひ、汚い小ほけな掘つ立小屋の家に住んで居る者に向つて政府が百圓の稅金をかけても何うすることも出來ない。然るに若し其の家の床の下に彼れの祖先が埋めて置いた所の幾つかの千兩箱があるとする、夫れを或る人が彼れに教へて與れる、お前の家の床の下を掘つて見よ、大金が埋めてあると云ふ。夢の樣に思ひながら掘つて見ると果して大判小判がザク〳〵出て來たとしたら何うであらう。百圓の稅金を出すのは最と易いことである。法然親鸞が凡夫の儘で許したのは即ち彼の貧乏人の破れ家を以て其全財產としたのである。地中の大金を示さなかつたのである。總の人は皆貴い魂を持つて居る、何物を以ても購ふことの出來ない偉大なる寶を持つて居るが故に、夫れを開かなければ許さないと云ふのが此の預言者の宣言である。然るに尙ほ種々の生活、如來の生活を開かないで凡夫の儘で行かうとするのは最も、る。是れは決してではない導る眞理を依然として凡夫でここが却つて困難なてある。是れを無視して囚はれたる從來の自分を押し通すに於ては永遠に救はれる時がない。宇宙の目的が那邊にあるかと云ふことを考へたならば跳躍飛躍して此眞理に驅け込まなくてはならない。眞理を捉へなくてはならない。人間は二つ宛の目を持つて居るのに、昨日迄は太陽が出たが今日から太陽が出なくなつたとしたら是れ程無殘なことは無い。けれども太陽は必ず每日出る。決して變ふことはない。吾々に目があれば宇宙に太陽がある。吾々に鼻があれば空氣がある。吾々に口があれば食物がある。天地間には斯く迄に吾々の爲めに備へられて居る。さうして吾々の心の中に神がある佛がある、宗教は天から降つて來たものではない、御互の中から生れたものである。釋迦何者、基督何者、皆御互ひの中から生れたのである。此の預言者も諸君の中から現はれたものである。其宗教は信仰の中から神或は佛を見出すのであつて、元來空つぽのものを作へるのではない、全く吾々と關係のないものであつたならば三千年或は二千年後の今日に佛教や基督教の傳はる筈がない、吾々の胸中に存するものである。是れを表して神又は佛の生活を開くのが二十世紀以降の宗教である。是れが最も宇宙の目的に副つた生活だからである（終）

## 日獨貿易前途

七月以來久原鈴木は卒先して歐洲航路に從事しつゝある運送船を獨逸に回航せしめ次いで郵船商船の兩社も夫々配船準備に忙殺されつゝあるが今回某所に達したる報告に依れば獨逸國內は今尙混沌として不安の域を脫せざるのみならず總ての交通機關も復舊の運びに至らずして貿易品の輸送意の如くならず。且つ金融機關の如きに至つては容易に回復の見込みなく概して對外爲替の如きは當分の內絕對に不可能なりと云はざるべからず斯る狀態なるを以て例令我國より貿易品を輸出するも支拂は六箇月乃至は一箇年後の延拂に據るより外に途なく斯かるとは我貿易業者の到底堪へ得べからざる所なれば我國對獨貿易は前途尙遼遠なりと云ふも不可なしと

## 生別死別

＝（不許複製飜刻）＝

服部硯月

第四十　世の中

『いや謙遜々々、各所の展覽會を賑がした事はありませんが、是程の傑作は未だ曾て見た事がありませんね、此麼天才を早くに世に出さないと云ふのは實に惜しいものです、天才加ふるに絕世の佳人、併しねお袋さん、今日は夫れ相應の動機を得ませんと、天才だけでは社會から認めて異れないです、矢張り世の中は金力です、ね、金力ですよ、獨り藝術のみと云はず、其進啓でも博覽會でも、苟くも他の問題や實業者と鉢臨を爭ひ月桂冠を得るには何うしても金力――を換へて云へば運動ですな、語くとも其の局に當るものに知己のあると云ふ事も一つの要件です、さもなくば第一其の陳列場に顏を出すと云ふ事からが困難です、運動費もなく、知己もない爲めに、非凡の天才が一生埋木となつて朽ちる者が世の中には澤山あります、或は藝術は虛榮でなく、展覽會に出ることゝ、社會が認めて異れるとは關する事なく、必ずしも現代に用ゐられずとも、百年の後に知己を得れば夫れで足れりでせう、併し生存競爭の劇しい今日、生活と云ふ事が先決問題です。世間には隨分富豪も居りますが、利益の伴なはない事には一文も投ぜず、偶々慈善事業を起す者もありますが、之も矢張り名聲の爲めです、それが單に名聲の爲めのみならば敢て咎むる事もありませんが、その贏ち得た名聲を他の方面に利用しやうとするのです、だから將來が未知數なる天才を發揮させやうとか、俊才を育成しやうとか云ふ事になると、それに手を出す篤志家は曉天の星も啻ならずです、斯う申しちや烏滸の沙汰ですが、私共では十人や二十人やの學費を出すに屁託はありません、何とか天才を見付けたらその技を十分發揮させたいものと思つてゐます』

『ごうも世の中の事は思ふ樣に參らないもので御座いますね、ヤヤお茶を差し上げるのも忘れてゐました』と美代子は澁谷の得意顏に述べ立てるのを、好い程に聞き流して、斯う云ひつ、番茶を茶碗に注いだ。

『いや、ごうぞお構ひなく……いや全くさうです、世には救うて遣らうと思うてゐる人が居り一方には救ふて貰うと思ふものがあつても明白地に言はれもせず、又云ひもしなければ、お互の意氣が通ぜず、別々に悶ひ焦してゐると云ふやうな者が多いものです』

『世の中と云ふものは其麼もので御座いませうか』

『ざうですとも！それはさうとお袋さん、貴女も此麼お孃さんをお持ちになつて本統にお仕合せですね、早くお孫さんのお顏が見度くはありませんか』

菊枝は默つて聞いてゐたが、澁谷の餘り無遠慮な話に、早く其の場を外したく、手の飼鳥を取上げて唐紙に向つた。唐紙に何か書き付けては消し、消した上に又書き付けては消し、消しても〳〵想が纏らないので焦ッたさうに、幾度か同じ事を繰返してゐる。

澁谷の方では却つて夫れを嬉しさの餘りと解し、徐々に話を藝術家として立つて行かれるには何うしても藝術を解する保護者を得られなければなりません、隨分世間には藝術家として其の趣味を抛つかさもなくば破鏡の嘆を見る者が往々あります、さうして今度は其の一の不德となつて世間の人から從來の聲譽も名譽も失ひ、却つて一生を不遇の位置に沈むやうな事となりもします』

『お孃さん、さうでせう、世に……』

と此の時

『御免なさい、差配で御座いますが、今月のお家賃の所を願ひます』

美代子は是を機會に妥協に立ち出た。

## 神仙爐

嘉道六家の詩（二）

劍花坊

明治三十五年頃に、特抽撰堂、內野皎亭と云ふ詩人が嘉道六家絕句と云ふ小書を編して、自序した。槐南が序を作り、石棣が題字を書いてゐる。體裁の好い、鉄は木製で、スッカリ支那式の瀟灑な本だ。廣く行き亘つて居らぬやうで、相應に漢詩人を以て自任してゐる人間でも持つて居ない者が多い、作詩の刊本としては珍書である。しかも漢詩に志つてはかなり有益な書物である。

いつたい漢詩と云へば、誰でも唐が第一だ、と云ふ、それから宋、と云ふやうに數へる。明に至ると、非常にこれに憧れる人がある、それに反對する人もある、或る程度、唐、宋、明は支那本部の漢民族、即ち漢人の天下で有つて、支那文明としては全盛時代で有つたに相違無いが、これに淸朝を加へることを忘れてはならぬと思ふ。

保險事業の……
本年に於ける生命保險は農產物其他副產物の價格騰貴に依り地方民の購買力增加し契約を爲す傾向を生じたる……以て前年に比し契約件數は……り従つて收入保險料の如きも……減少の兆候あれば成る可く此等……

投資の利廻

……は大體……分乃至七分見當にして……定利率……は不足を生ずるに至れり……より見る時は前年に比し著し……

**株金拂込催告**
當會社第一回新株式第二回拂込金壹株ニ付金拾貳圓五拾錢也大正八年十月十五日附拂込ノ旨公告及御通知致置候處右拂込期限八年十二月二十日限リ指定銀行ヘ御拂込相成度此段公告候也
大正八年十一月　日
東洋拓殖株式會社

**理化少年　十一月號**
**理科少女**
定價各廿五錢　一年分三圓（郵共）
東京丸の內　日本少年理化學會

謹啓益々御清榮奉賀上候陳者弊商會儀今般合資會社陸商會を設立し從來の營業並に權利義務一切を繼承致し誠意業務の發展を圖り候間何卒倍舊の御愛顧御引立に預り度此段披露旁々御依賴申上候
大正八年十一月
合資會社陸商會　代表者　西川篤次郎

謹啓愈々御清榮之段奉賀上候陳者弊商會儀今般合資會社陸商會を設立し從來の營業並に權利義務一切を繼承致し誠意業務の發展を圖り候間何卒倍舊の御愛顧御引立に預り度此段披露旁々御依賴申上候
大正八年十一月
株式會社陸商會　常務取締役　西川篤次郎
京城府大門通　本店

**大隈侯主宰　大觀　十一月號**
社會革命と將來と國民の覺悟…五來素川
歐米の勞働問題概觀…法學博士 添田壽一
瑞典の現狀と國王の生活…公使 內田定槌
青島問題紛糾の理由…法學博士
史味の滿洲旅
貴族院と食糧政策
如何にして選擧界を廓淸すべき乎…安達謙藏
改造の根本要諦…侯爵 大隈重信
朝鮮騷擾の由來…島田三郎
一人の力…片上伸
大隈侯座談
政府のサボターヂ
宇宙に關する最近の思潮…一戸直藏
世界文化の二大潮流…西 貞次
定價四拾錢

**改姓改名**
如何なる人にも自由にデキル秘訣方法を說明書…無代進呈
東京四谷區 中央法律研究會

**習字**
御手本類何でもあります
目錄送呈
精華堂法帖店

**測量學**
速成講習錄
新式通信教授を以て測量學の一般を授け測量技術速成三ヶ月修了の講習生を募集す詳細書申込次第規則無代送呈
東京京橋區 通信工手學校

**黎明講演集**
第一卷完成
新裝 價貳圓五拾錢 送料十五錢
東京京橋區 株式會社 大鐙閣

大隈侯爵　執筆者　當代之博士大家五百五十名
編輯總裁

**日本百科大辭典**
三省堂編
日本百科大辭典完成會纂
自第一卷至第十卷　一千部限　特價提供

帝國出版界の最大權威にして明治・大正を記念すべき日本百科大辭典茲に完了す
萬有の知識整然として集り古今東西の事物一として網羅せられざるはなく然かも之を綴るに有趣明瞭なる文字を以てし、之を飾るに精巧美麗なる圖版を以てしたり。故に一度本書を繙けば興味津々飽く所なく眞に現代唯一の世界的百科辭典と稱する事を得べく、本書一部を座右に備ふれば群小數百の圖書を備ふるより其效果絕大なるべし加ふるに裝釘は現代技巧の精を極め、堅牢にして優美なるが故に書齋若くは接客室の美觀を添ふべき無比の逸品たるを失はず

本書全十卷及第一號書架

書架は第一號第二號共檜材ヴァーニッシ塗にして堅牢と優美とを兼ね且つ解體並に組立自在なり實物寫眞及說明書御申込次第進呈す

定價（全十卷索引付）金百八十圓
完成記念特價金百五拾圓

▲今回限り愈絕版▼
本會は本書の全部完成を記念する爲め僅に一千部を限りて增刷し實費に等しき特價を以て今日まで本書を備ふるの機會を得ざりし有志家各位に提供し爾後斷然**絕版**する事となれり（蓋し本書の如き浩瀚の大著にして挿入圖版の繁多なるものを新規印刷に付するの擧は到底不可能事たるべき諸種の事情を有す）されば萬一この最終にして最好の機會を失すれば永遠に本書を藏する事能はざるの悔あらん茲に最終の特價提供を發表するに際し敢て各位の座右に勸む

| | |
|---|---|
| 送料箱代 | 東京市內無料（外國・領土若くは內地にて特に多額の運賃を要する場合には其差分を購入者にて御負擔の事） |
| 提供部數 | 一千部限（特價締切後は定價に復す） |
| 內容外觀 | 四六倍版總革製天金箔付（總代數一萬五千頁登載語數六萬五千挿畫七百餘種） |
| 送金送本 | 振替若くは爲替。着金後直に送本の事 |
| 製本現狀 | 第一卷より第十卷迄全部製本既成 |
| 專用書架 | 一號型二十圓・二號型十五圓（實物寫眞及說明書御申越次第進呈） |

內容見本　御申越次第進呈
詳細事項　御照會次第回答

申込所
東京市牛込區新小川町二丁目四番地
日本百科大辭典普及會
振替東京三五〇〇〇番　電話番町四六七五番

## 批准書作成延期

英佛伊日四國講和條約批准書は既に佛國外務省に寄託ありたるを以て來る十一日第一批准書を作成するに決定し居りしも六日其筋に達せる情報に依れば實施準備未だ完了せざる爲め更に作成期日を延期したるものゝ如く恐らく本月下旬に至るべき模樣なりと（東京特電）

## 米政府罷工威壓

米國炭坑夫の同盟罷業は政府の高壓政策に依り其氣勢を挫かれたり（紐育電報）

## 新內閣員決定

五日新總理閣員の顏觸れは次の如く決定し安福派領袖の意見を求め來れり

▲外交陸徵祥▲內務田文烈▲財政周自齊▲陸軍總理兼任▲海軍劉冠雄▲農商務張志潭▲敎育夏壽康▲交通傅嶽棻▲司法朱深

右に就き安福派領袖の談に據れば兎に角該閣員全部を通過せしめ其政策を監視する由（北京電報）

## 王軍事委員長說

王士珍氏は近く新設の南方軍事委員會長たらんとの說有（上海電報）

## 吳光新妥協促進

吳光新の湖南行は妥協成立を促進しつゝありと傳ふ（北京電報）

## 武器秦皇島到著

張湖南督軍より註文せる武器は二日秦皇島に到著せり（北京電報）

## 帝國議會召集期

第四十二回帝國議會召集は多分十二月廿四五日頃にて詔書は十日發表十一日の官報にて公布ある可し（東京特電）

## 豫算閣議終了

既報の如く六日夜九時半より首相官邸に豫算閣議を開き大藏省整理案に就き審議を進め更に各省提出豫算の中削除又は減額されたるものに對し復活に努め七日午前一時十分に至り散會せるが各省に亘り多少復活を見たる模樣なれど之が財源捻出に就ては更に午前十時より開かるゝ閣議にて萬事決定す可く之にて豫算閣議を終る可しと（東京特電）

## 故寺內伯へ 御下賜 並に御沙汰書

寺內伯薨去に就き七日午前十時勅使として三室戸主事を同邸に差遣され燒香せしめられ尚左の通り御下賜ありたり（東京特電）

兩陛下より

祭粢料 一封

白絹 五疋

供物 八臺

花 一對

皇后陛下より

花 一對

御沙汰書

至誠職ヲ奉シテカヲ軍務ニ格シ中堅衆ニ臨ミテ化ヲ臣民ニ布ク輔弼ノ重責ハ膺リテ皇猷ヲ之レ贊シ鞅掌ノ大任ヲ負ヒテ庶績ニ之レ勞セリ丙辰條ニ聞ス軫悼特ニ切ナリ宜シク賻ヲ賜ヒテ臨ミテ弔ス可キ旨

御沙汰候事

## 對歐貿易出超

九月末日迄に於ける我對歐貿易は二千七百萬圓の輸出超過を示せり（東京電報）

## 財政經濟調査會臨時委員

七日白仁武氏以下二十五名は財政經濟調査委員に任命せられたり（東京特電）

## 田臺灣總督

田臺灣總督は六日夜七時東京驛發赴任せるが見送り盛んなりき（東京特電）

## 海運政策の要

大阪商船 讃山生

◎戰後の經濟界に於て世界各國が海運政策を最も重要視せる今日我が日本は將來果して如何なる方針を取るべきや既に巴里講和會議に於て五大強國の列に入りし本邦は財政に於て果して其資格を有するや否やは暫く措き國力の基礎たる國富の增進を計らざる可らず

◎抑も本邦の如き國土狹小にして其生產力にも自ら限度あれば國富の增進を計らんには須らく外國貿易を旺盛ならしむると同時に海運の發展を極力勉めざる可らず戰後の本邦海運は日本を中心として活動するは時勢の要求と云はざる可らず

◎狹小なる本邦の生產力には自ら限度ある可く隨つて外國貿易も本邦を中心としたるものは其貨物價額に自ら制限せられて之れに依賴する海運は勢ひ其局限を受くるの歸結となれば將來世界の主要なる市場と連絡する航路即ち國際取引主義に基きて世界航路を經營するの必要あるは言を俟たざる事なり

◎上海に於る穀類を歐洲に輸送し新嘉坡のコプラ若は爪哇の砂糖を歐洲に運賃し或は孟買よりの歐洲に南米より佛國に到る航路の如きは日本とは直接關係なき世界航路なりと雖も海運業者の努力に依りて之等世界的航路を擴張し其發展を企圖するは本邦海運業者の忽せにすべからざる問題なり既に本邦海運業者に依つて航路開拓を實施しつゝあると共に彼の伊太利、和蘭に於ても海運發展の實例を見んとするに至りしは今後國際取引主義により世界航路を開拓するの方針を取るの最も緊切なる所以なり

◎然れども世界の各航路には各種の障碍なる問題ありて容易に其の侵入を許さゞるも官民一致して海運發展のため國際主義に基づき廣く世界的に航路の擴張を計るは本邦海運政策の根本方針として大いに努力すべき現下の急務なり

## 來年陸軍豫算 二億八千萬圓

陸軍省九年度豫算案は四日の豫算閣議に於て決定せり而して同省所管の

### 要求總額

は約三億五六千萬圓の巨額を算したるが尤も此內には物價騰貴に伴なふ一般經費の增額をも加算せられ居りしたりと而して九年度に於て同省所管の歲出豫算は總計一億四千五百萬圓內外にて其額凡そ八千五百萬圓內外を算したれど所して九年度に於て同四千四百萬圓なるを以て之に物價騰貴に伴なふ經費の增額八千五百萬圓を加算せば結局既定經費は總額約二億三千萬圓に達する譯なり、但し此內八年度を以て打切りとなるべき事業費其他臨時局關係に伴なふ臨時施設の廢止に依る從來所要費額の消滅も一千萬圓以上はあるべき勘定なりと言へば差引既定支途に關する經費は約二億一二千萬圓なりとのことなり但し這は當然不可避の經費膨脹なるを以て異議なく大要原案通り認容せられたり然るに同省所管中

### 新規要求

に係る所謂陸軍々備充實費は頗る巨額に達し九年度豫算案の編成上海軍八々艦隊計畫に次ぐの大難題と目されたるが大體之が要求額は左の如しと云ふ（單位千圓）

| | 繼續年度 | 總額 | 九年度年割額 |
|---|---|---|---|
| 要塞整備費 | 三 | 四五七、〇〇〇 | 四〇、〇〇〇 |
| 航空大隊增設 | 二 | 二七〇、〇〇〇 | 三二、〇〇〇 |
| 兵器改良費 | … | 一〇、〇〇〇 | 一〇、〇〇〇 |
| 合計 | … | 七三七、〇〇〇 | 八二、〇〇〇 |

右の如く同省所管の新規要求額總計七億三千七百萬圓の內其九年度割額として要求せられたる額は合計八千二百萬圓を算したるが何分にも財源に限りある今日財務當局側の立場より觀て到底其全部を認容し得ざるは勿論の次第なるを以て田中陸相と高橋藏相との間に詳細に亘る說明應酬ありたる後結局前記の諸計畫は何れも緊急着手の必要あるものとして之を認容すると共に明年度豫算に於ても凡て若干の經費を計上することゝし兵器改良費の一千萬圓は全部認容に決し航空大隊の增設費は其九年度分として一千二百萬圓だけを認むることゝし二千四百萬圓だけを以て要塞整備費は二千萬圓を認むることゝして結局同省所管の新規計畫費として

### 豫算成立

を見たる次第にして總額約六千二百萬圓の新規要求中五十萬圓及び其の他の軍需品補助費約五百萬圓等に要する經費若干ありたるを以て之に對して更に同省の新規要求に屬して削除されたる小銃其の他に關しても或は更に追加する事あるべく何れも十月中に豫算を開始したる一般會計の成績を俟ちて其の後の狀況に依りて措置せらるべしと（東京）

## 鮮滿片々

### 全南果樹園數

全南に於ける果樹園經營者は五畝步以上の反別百四十一町三反にして內三町步以上の經營者は七名にて一町步以上は羅州郡の果樹園經營一戶なるが全經營者の生產高は七年度三萬九千六百貫六年三萬五千三百貫五年二萬一千四百貫あり八年度見込高は二萬一千貫此は四月下旬の晩霜のため著しく減少したるためにて樹種は梨苹果桃梅の順位なりと（木浦）

### 住宅拂底緩和策

群山商業會議所にては此程役員會を開催し同市に於ける住宅拂底問題に關し之が緩和策として官舍及び學校職員の舍宅を增設すること銀行會社に於ても舍宅を新設すること貸家の建築を奬勵する爲低利資金を供給することを決議し群山府尹及び學校組合に要望したり（群山）

### 選穗品評會

全北扶安郡勸農會に於ては第二回水稻選穗品評會授與式を本八日擧行する由なるが成績優良なる者に對しては夫々賞品を授與する筈にて審査長は同郡農業技手を任命せり（全州）

### 忠南漁業者數

忠南道の沿岸は大小の島嶼點在し魚群の來遊を促し漁業に於ける好個の漁場として知られて居るが主なる漁業地は舒川沖保寧沖の諸島及び淺水灣、牙山灣、錦江流域にて現時の漁業者數は二千五百戶千七百十人にて漁業者專業三千九十一人にして漁船は內地人移住漁業者二百隻朝鮮人漁業者二千二百二十隻合計四百二十隻を算し他道鮮人の出漁船は二百隻內地人の出漁船平均八百隻內外にして千八百隻に上ることあり（公州）

### 安東劇場總會

安東劇場は既に一部株金の拂込を了したるより來る二十日頃創立總會を開く筈なるが本年は基礎工事に取り來春解氷期を俟ちて建築に着手すべく設計は目下重松組の手に依りて作成せられつゝあり（安東）

## 鮮銀舍宅新營

市內住宅拂底の爲め一般市民の困難一方ならざるが就中朝鮮銀行の如き職員の住宅を求むるに頗る苦心を要するにつき爲て舍宅地物色中の處此の程總督府の一部なる永成門內十七千坪を李王職より拂下げ明年解氷期を待ちて此處に舍宅約四十戶と大合宿所とを建築する由又永成門內別個の數千坪は既に殖產銀行にて拂下げ同行も近く舍宅數十戶を建築し土木局は明年事業として同門內より貞洞に通ずる道路を新設し市區改正を行ふ筈なれば將來頗る便利の地域となるべしと

## 赤池局長著春

赤池警務局長は江原道管內民情及び警務視察の爲め古部保安課長を伴ひ七日午後一時自動車にて春川に著せり（春川特電）

## 故寺內伯の葬儀 會葬者一萬餘に及ぶ

故寺內伯葬儀は豫定の如く七日執行されたる麻布笄町の自邸に於ては午前十一時三十分同邸出棺に先だち大僧正の導師にて出棺前の讀經あり午後零時二十分式を了へ喇叭にて久世少將の率ゆる一個聯隊の近衞兵一小隊の軍樂隊警列あり畏き邊より

### 御下賜の御榊

生花竝に花を先頭に葬列は整へり斯て近親者以下參葬者一同馬車腕車を列ねて零時五十五分出棺葬者總代秋山大將菊池中將楠野少將松本大佐山口中佐坪井少佐友清大尉傚副中尉熊谷少尉等棺前に先立ち騎路砲兵大佐大勳位の大勳章を捧げ十七名の將校夫々故元帥の勳章を捧持せり而して令息壽一大佐は喪主として宇多田義三氏田中平之進氏は位牌を捧持し又喪主壽一大佐は陸軍の正裝を著し徒步にて棺後に從へり斯て數町の行列は午後二時芝增上寺の

### 葬儀場に

著す此の時十九發の吊砲を轟かせ式場に入り東宮御使各宮家御使三室戸主事の參列あり田侍從及び皇后御使御使者に進みて燒香あり次いで參列者一同燒香をなし之れに次ぎ一般會葬者の燒香あり

### 全く式を

了れるは午後四時暮色迫り靈柩は直に桐ケ谷火葬場に送りて荼毘に附したるが八日午前八時近親者にて骨上げをなし一日增上寺に持ち歸り九日午前八時三十分東京驛發急行列車にて鄕里山口縣吉敷郡宮野村に持ち歸り菩提寺法華寺に葬儀を營み寺內家の墓地に埋葬する筈因に寺內伯の葬儀は文武朝野の名士及び一般の會葬者合計一萬餘の多數に達せり（東京特電）

## 製革事業發達

內地當業者は如何に

本邦の製革業は近來著しく發達を遂げ居れるが其の原料皮の最大供給地は支那印度及び南米にして米國が僅に自給自足の位置を有する外殆ど各國は概ね他より供給を受けつゝあり本邦の如きも我が國から外國の輸入を仰ぐの已むなき有樣なりしが近時內地製革業の發達に伴ひ目下本邦にて使用せらるゝ原料の約六七割は內地製品を占むる狀態なれば此の分にして推移せば近き將來に於て供給の大部分は

## 大豆取引活況

本年度に於る朝鮮大豆並に滿洲大豆の不作減收は各地移出に不安を來し從つて取引不振を極めたるが殊に朝鮮大豆の如きは滿洲豆の移入平均へのため近時取引殆んど行はれずして些々たる數量の出廻りとなりしが此の頃に至り漸く活況を呈するに至れり然るに大豆出廻りは大々的の高値を示し朝鮮大豆は廿五圓八十錢前後內地向移出は殆ど不可能に就き大々的移出は當分不可能にして之が爲に內地大豆界は漸く活況を呈するに至れり

## 大阪在米增加

十月三十一日現在大阪市中在米高は前回末の廿六萬三千石に比し一萬二千三百石の增加を來し二十七萬五千石となりたり內譯左の如し（大阪）

| | |
|---|---|
| 內地玄米 | 四一、三一八 |
| 同 白米 | 三、六三六 |
| 朝鮮玄米 | 四九、一四 |
| 同 白米 | 三、〇二〇 |
| 臺灣玄米 | 二、〇八九 |
| 同 白米 | 三六 |
| 外白米 | 一六六、二二三 |

## 京城在米不變

京城に於ける十一月末在米高は一萬五千二百八十九石白米二千三百十九叺合計一萬七千五百餘石にて前月末に比し大差なし（京城）

## 最大供給地

は支那印度及び南米にして米國が僅に自給自足の位置を有する外殆ど各國は概ね他より供給を受けつゝあり

## 和紙の昂騰

九月頃より昂騰を續け居れる和紙は本月に入りて更に一段の昂騰を見せしが目下產地は當地市場への仕入れ地方筋の買進みに一段の昂騰を見せしが目下產地は當地市場に附隨して特に紙類の昂騰は何分品薄の關係上得ずして特に障子紙仙花紙類の昂騰を來し居れり（大阪）

## 印度物產市

明年五月印度カルカツタ市に於て開催さるべき印度物產市場に關し大阪商業會議所に於ては出品勸誘中なり（大阪）

## 興鐵株好況

朝鮮興業鐵道株は既報の如く七日より一萬株の新株を公募開始したるが同鐵道の前途には世に知れざる强味ある由にて公募の申込は一般にても拂込額の五圓の少額なるため總て申込者多からざる模樣なり

## 滿鐵時間改正

滿鐵京城管理局にては自今執務時間を左の如く改正する旨示達したり

九月一日より五月末日まで午前九時より午後五時

六月一日より八月末日まで午前八時より午後四時

## 印紙收入概況

九月印紙收入は七十六萬三千五百十五圓同月迄の累計は四百六萬八千二百九十四圓にして前年度同期の收入に比すれば九月分に於て百五十四萬七千四百四十七圓は三十萬七千八百四十八圓を增收せり

## 兩會社認可

水浦府所在全南釀酒株式會社（資本金十萬圓）並に京城府所在朝鮮製器株式會社（資本金四萬七千圓）の兩會社は何れも五日附設立許可の指令ありたり

## 出張命令

左の通り出張命令あたり

總督府技師 湊 幾太郎

忠南古陽郡管內へ出張を命す（七日附往復四日）

總督府鐵道部長 和田 一郎

釜山馬山地方視察の爲出張を命す（六日附往復四日）

總督府技師 岩崎 眞雄

東京大阪茨城岩手長野秋田愛知三重奈良福岡の二府八縣へ出張を命す（六日附往復三十日）

## 人事消息

▲二高出身者同窓會 在京城第二高等學校出身者は九日午後五時より花月に於て同窓會を開き會員の親睦を計る由

▲休職助氏（關東廳長官）七日午後朝鮮ホテル發列車にて北行（同上）

▲大內代議士 七日夜上海午後十一時發列車にて北行（同上）

▲佐藤代議士 七日午後十一時發列車にて北行（同上）

## 鳥瞰錄

何ごつても世界で今一番困つて居るのは米國である▲條約批准延期論者は猛烈な意氣で反對に抗爭する結果は漸次惡化して此年の國內の騷ぎは一方ならず一般市民の金融恐慌も存外効力もない樣で上下正に混亂の如しと云ふ騷ぎらしい▲罷業は殆ど手段も盡きた樣な模樣であるが結局何うして來るに相違ないさうなると內政の聲が高くなる▲結局何うなるかは世界文化史上最も興味ある問題である米國の政治家が何うして之れを切り拔けるか爲々面白い舞臺となつて來る▲例の加州の排日は更に大きくなつて來るやうな模樣があるが▲其の最大原因の一つと云ふのは日本人の生殖力である▲實際米人の一番恐れて居るのは日本移民の人口激增であるらしい▲と云つて移民が年々ドシ〳〵移住して行くと云ふ譯でもない▲即ち日本移民の生殖力が素晴しいのである移住後八年で七人の子が產まれて居るなどはザラにある▲で米人は吃驚して此の調子では今に吾々は日本人に征服されて仕舞ふ子供を產むのも好いが少しは遠慮の仕樣もあり相なものだと愚痴をこぼす▲其處で日本人は何とも仕方がないと澄して居るけれど▲所謂云ふ事から例の萬事大きく出る米人氣質から結局は排日と云ふ大問題が飛び出して來て居るが此の始末には鳥渡何人も困らうテ

## 仁川期米

三節に到れば當限米さえも中⑤の手結めに四十錢弛みしが因より京城筋の買ひに反發し⑦④の買物も消化され七十錢こ節へ移れは...

| | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 寄付 | 四三、三〇 | | |
| 止値 | 四三、五〇 | | |
| 高値 | 四三、六〇 | | |
| 安値 | 四三、〇〇 | | |

取組高 當限 八萬五千二百石 中限 四萬五千四百石 先限 四萬一千四百石

## 一、京城株式（至急電報）

| 銘柄 | 前日比較 | 七日 |
|---|---|---|
| 大株 | 三八〇、〇〇 | 二、一〇 |
| 新 | 三六八、〇〇 | |
| 東新 | 三八六、八〇 | |
| 東株 | 三七〇、〇〇 | 五、〇〇 |
| 堂米 | 一八七、二〇 | |
| 正取 | 二八七、二〇 | 一、二〇 |

## 下關期米特電

| | |
|---|---|
| 內地玄米 | 四六、七九 |
| 朝鮮白米 | 四六、六六 |
| 同 | 四六、七九 |

## 東京現株（至急電報）

| | |
|---|---|
| 鐘紡 | 四二八、〇〇 |
| 新 | 一三〇、〇〇 |
| 東新 | 三三〇、五〇 |

## 東京株式特電

| | | |
|---|---|---|
| 滿鐵 | 一七四、七〇 | ▲八六、〇〇 |
| 新 | 一六九、一〇 | 九六、〇〇 |
| 二新 | 一四一、〇〇 | |

## 神戶期米特電

七日後場 正米不變 四六、四七

## 大阪期米特電

七日後場 正米十錢高 四六、五一 四六、六一

機械工具製作及輸入

營業課目

諸機械工具類 製作及直輸入 電機器諸材料 船舶造船用工具材料 土木鑛山用具材料 金剛砥石製作及輸入 其他諸工業用材料一式

製作種目

チヤツプリーン ユニバーサルクランプ エキスパンダー ダイスストツク セーフテイー機 捻子切（丸角の持駒） ハンドドリル ボール盤 同用ソケツト 張リール用線 ドリルチヤツク ペンチ イングリース 各種スパナ

大阪市東區空堀通一丁目電車通

元大西鐵工所改メ

合名會社 大西工具商會

振替大阪二三七〇三番 電話南六〇一七番

本店 附屬製作部 第一工場 市外中本町 第二工場 南北堀江

店員募集 十四五才ヨリ二十才マデ數名

新朝鮮 創刊號出來

「新朝鮮」發行所 東京市下谷區御徒町一ノ六九 一册二十錢・一ヶ月三册五十五錢

本紙は日本文である日本人に讀んで貰ふ爲めに

李東宰 主幹

大島紬

本場大島紬珍柄荷著

弊店は月賦販賣も兼居候電話又は葉書にて御下命被下候へば持參可仕候

京城本町一丁目五十番地

織元出張 勝久京城支店

電話一九〇一番

△汽罐 △汽機

百二十馬力ヨリ二十馬力迄

△電力モートル 五十馬力以下三馬力迄

△ウオシング喞筒 八吋以下三吋迄

△セントルヒユガル 拾吋以下二吋迄

△アイデール精米機

△シヤフト・革車

△ベルト・メタル

右多數在庫

京城南大門外 中根商會 電話一〇〇四番 一〇〇五番

京城岡崎町 中根陳列所 電話九五五番

英國ジヨナス會社製青調附

八角鋼

平板 鐵板

京城本町一丁目

佐野彥金物店

鑛鍋品製造工場

電話一六三番 振替京城一三〇番

最も安心の出來る靴

ボックス上革 一號金五圓五十錢 二號金五圓 三號金六圓也

ボックス形革 一號金五圓五十錢 二號金六圓 三號金六圓也

ボックス深ゴム 一號金六圓五十錢 二號金六圓 三號金七圓也

御注文の節は靴の種類と足袋の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候

東京本所三ノ橋際

松本高等靴製造所

電話本所五〇九三 振替東京二五五八 電略（マ）又（マツ）

定價表進呈 郵券二錢要

直接提供

甲種 自動車運轉手養成

本科二ヶ月 速成科一ヶ月

甲種免許證得せしむ 郵券二錢規則送呈

東京芝浦自動車講習所

金利昂騰の趨勢は英債現金償還にて年末緩漫の常態に再歸せざるか一月以降の貿易逆勢は其主因綿花買入の大思惑に基かざるや冷靜觀察の御放資可然存候

營業案內御申越次第贈呈可仕候

大阪株式取引所仲買人

藤井吉平商店

電話本局長八五六番 八五八番 長八五七番 八五九番

振替口座大阪四七六三〇番

人力又は發動機にて動く 製材機

苦心の大發明

一人の足ふみ力で用ひ一機を以て風呂の焚作用電動機の人力を二百回轉し一分間一寸板六十間製材す實驗歡迎

大阪江戶堀

帝國特許機械製作所

深山の木材伐出用に最便發動機も電氣も水車もいらぬ 今度機械一寸タチ貳百參拾圓 入用者に說明書進呈す

銅器物製造販賣所

大々的勉强仕候間多少ニ不拘御用命被下度候

京城本町三丁目六五番地（郵便所前）

銅定商店

# 國境橫斷旅行 (四六)

鍾城から惠山鎭へ

間島移住民に逢ひつゝ 雪の茂山峠を踰えて 吉州郡合水に到着す

盆栽にしたい小柄な落葉松 獸の毛許りのやうな虎の糞

朝店にて 特派員 伊藤韓堂

山羊坮の裏手から河を渉つて對岸に出ると流れは瀧の如な急湍となつて附近の景色を更に壯觀ならしめて居る崖の上には

**盆栽にしたい** 如な落葉松や唐檜の年輪を經て而も丈けの小さい枝振の佳いのが數限りなく生ゐて居つて之れが京城附近であつたならばと思はしめる。二三百年も經たらしい大木は到る處に倒れて居つて馬の歩きを更に鈍らしむる。山羊坮から三里、吉州郡の合水へ三里といふ處に昌内と云ふ處があつて家屋が三戸ある。一軒は

**旅人宿の看板** が懸けてある此處は茂山峠の中腹を出た西頭水の本流と茂山峠の頂きにある大澤といふ池から出た一支流の合水點であつて人家の所在地は宛も島の如な形を成して居る。主人らしい三人の男が大水で流れた橋梁の架設中である。茂山峠の絶頂に到る道を辿つて來ると綿入を着て丸くなつた朝鮮婦人が赤兒を抱いて牛に乘つて亭主らしい男が

**チゲに鍋釜類** 擔いだ後牛の手綱を牽いて居る。何處に何しに行くのかと聞くと北間島に移住するのだと答ふ。何故の移住かと問ふと親類が龍井村に居るので往くのだと答へて居つた。茂山峠の北麓に來ると流れは小溝ほどの大きさと成つて居る。又もお天氣が變りさうなので馬を落葉松に繋ぎ、枯枝を焚き流れを汲んで湯を沸かして居ると獵師は

**山鳩を二三羽** 提げて來た何時の間に何處で獵をしたのか知らない狸に擊つて來たのだ。流れを縫うて山に掛ると又々や大粒の雨が降つて來た果ては雹のやうなとなつて來た。息もあへぐ〳〵登つて行くと山には白山茶や側柏の[illegible]等が繁つて居る。山の頂きに出ると又も一組の

**間島移住者の群に逢ふ** 六十餘りの御婆さんが、山羊坮まで行く内に河を渉らないでも濟みますかと心配氣に尋ねて居つた。渉らないで濟む處か太股位までは八九ヶ所渉らねばなるまいと數へてやるとアイゴーと三四人一時に叫んで居つた頂上に出ると倒れた大木の上に人糞らしいものがある。高橋君は之れは熊の糞だと敎へて吳れた。熊は麥も食へば馬鈴薯も食ふ。樹に上つて栗の果さへ食ふ位だから

**糞は人と同じ** 如だそうだ不思議がつて聞いて居ると今度は虎の糞を發見した。糞は灰色で殆ご獸の毛ばかりだ。も少し新しい糞だと野宿して追跡したいと語つて居つた。此處は倍々嶮しくごう〳〵本降りになつて一面に白う積つた。頂上の空地には吉州郡と茂山郡界の郡界標が立てゝあつて分水嶺の水溜に敷き詰めてある木材の橋を渡つて往くと北溪水といふ村がある。急な勾配の溪流に沿うて南に下ること一里、合水に到着した。

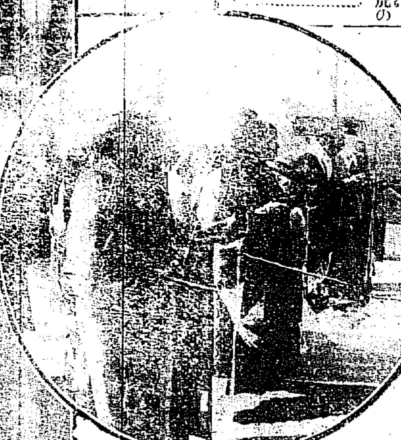
## 强盜と格鬪 健氣な兄弟

慶尙北道慶州郡々内面三橋里西百八十二番地朴元七方に二日午後十二時頃四名の覆面頭巾の强盜現はれ各々棍棒を携へ二名は外に見張を爲し二名が内房に闖入し金を出せ出さねば殺すぞと棍棒を振り上げ脅迫したるにぞ朴は恐ひ怖ら有合せの

**十圓を** 取與へたるに賊は引手繰る樣にして表に飛出し其足にて同面同里梁許允方に前同樣の手段にて侵入したるが梁永元の長男梁台次男梁喆はおのれ曲者と双方より打つて掛れば四名の賊も棍棒を振廻し暫時は

**大立廻** りを演じ梁喆は二三ヶ所に負傷したるも怯まず戰ひ終に賊の一名慶尙北道生れ當時慶州郡々内面朴仁西方雇人李達用(三)を取押へたる爲め三名の賊は何物も取らず逃走したり急報に接し慶州警察署にては直に

**大活動** を開始し搜査の結果慶州郡々内面朴仁西方雇人成汝(三〇)を逮捕したるが尙二名の賊は踪跡を晦ましたるより目下搜査中なりと



故寺内伯燒香式

(上)齋藤總督の燒香(下右)各宗僧侶の三鉦讀(下左)李完用伯の弔辭朗讀

# 肖像に、在りし日の威容を偲びて 故寺内伯燒香式

京龍の官民悉く[illegible]

嚴かにも亦盛大を極む 英靈地下にも笑まん

故寺内前總督の燒香式は七日午後三時から憲兵隊司令部構内の前庭に於ていとも嚴かに執行された。式場正面には黑白段々の幔幕を張り白無垢の布を以て蔽る、十數箇の花輪を飾り、一段高き壇上には、故元帥の在りし日の俤を偲ばしむる油繪像を安置し、正面には供物、左右には白菊の香[illegible]斜陽を浴びた式場には何となく寂やかな空氣が漂ふ。定刻前に至れば門前は腕車を以て埋まり、門内の車置場には馬車、自動車並んで場内には參列

**參拜の人** が續々と詰めかけて來る、定刻李王殿下代理李乗武副將李堈公殿下代理黑崎事務官、李王妃殿下代理尹澤求賛侍、齋藤總督、李完用伯其他順次に著席すれば、錦繡燦たる僧衣を纏へる内鮮數十の

**僧侶の群** 靜かに所定の場所に著席、香偈、三寶禮、四奉請等澄みたる讀誦の聲と鉦の音の中に進み導師靈前に進み嚴かに表白するところあり三鉦讀の間に各宗管理者

**燒香を終** へ、次いで發起人總代として國分法務局長の祭文朗讀、次に李完用伯の弔辭朗讀あり、讀經の聲流れ行く中に參列參拜者一同の燒香あり、靈從文、念佛一會、總回向、十念禮佛偈を以て式は終了した。國分法務局長の朗讀せる祭文左の如し

### 祭文

大正八年十一月三日元帥陸軍大將從一位大勳位功一級伯爵寺内正毅閣下薨去せらる、吾等相集り玆に時羞の奠を以て閣下の靈を祭る

閣下身を軍籍に投じて五十年出ては砲火の間に立ち、入りては帷幄の樞機に參し軍隊の訓練、軍事の教育、軍制の改革一として之れ與からざるはなく、以て我陸軍の聲譽を列強に振ふ

閣下明治三十五年を以て陸軍大臣となり同四十一年外務大臣を兼攝し同四十三年韓國統監となり尋いで又朝鮮總督となり大正五年十月内閣總理大臣に任ぜらる其間日露戰役あり日韓併合あり歐洲の大戰あり閣下其の至誠を以て[illegible]難局の衝を竭し有終の美果を收めて國威を世界に宣揚せり

閣下の朝鮮に在ること前後七年日韓併合の宏謨を翼賛して元々を綏撫し積年の宿弊を一洗して統治の基礎を樹立し以て皇澤を權域に洽ねからしむ

嗚呼偉なる哉閣下の勳業一世を蓋うて盛德高古に垂る漢山其れ峨々たり漢水其れ悠々たり希くは英靈長く留まりて斯土を冥護せよ

## 遺物展觀 寸翰零墨悉く憶出の品

燒香式が濟むと同時に司令部階下の一室に陳列された故人の遺物展觀が開かれたが書が最も多く生前伯に近親して居た人達は何れも感慨に滿ちた面持で觀覽して居た。

## 電信係員の怠業說 欠勤者續出

京城郵便局電信係員全部は過日同盟怠業の擧に出でんとし加はりしが當局の懇諭に依り當日は無事なるを得たるが爾來同係員の出勤は日頃の如くならず或は病氣と稱し或は事故を稱へて缺勤するもの續出せりと傳へらる

## 西伯利で米の廉賣

困り切つて居ながら買手が少い 日貨を持たぬのが主な原因

本紙東京支局特派員服部硯月氏よりの十月十七日附齊多通信の一節

露貨の暴落は益々甚だしく昨今日貨百圓に對し七千二百留の割合である爲めで物價は騰貴し露民の窮乏は

**想像の外** で[illegible]ばかりでなく邦人の困難も非常なもので最近我官憲の[illegible]で日米の有償交付を行ひ一升七十一錢の割合で一人[illegible]家族の人數だけ購買を許し[illegible]

**日貨を得** るには八十[illegible]換るのは非常に困難である、[illegible]の所持して居る露貨が此時代に[illegible]のなら問題はないが或は五千或は二千[illegible]換る事は如何にも[illegible]

**涙の出る** 程苦痛である[illegible]

**約半數に** 過ぎなかつた[illegible]

## 朝鮮情話 戀の李文姬 (一)

波瀾曲折たる半生涯 水草の如く流轉して

### 闇より明みへ

日陰に晒せぬ意氣と[illegible]

今は知らずや。その頃の新義州は土地の狹い割に闇に咲く白粉の花は大路小路到る處に蔓がつてゐた。花の眞ん中に妓樓が散在して、絃歌の響の絶間は嘗て無かつた。黃昏、小路を通ると華やかな灯火の影には白い顔が蠢つゝも浮いて、艶めかしい聲で男を呼び止めたものである。是等の女は富貴も名譽も戀も身も總てを皆過去のものとして唯もう其日を酒に暮し唄に明すばかりであつた。藝者と酌婦と呼び其の名稱こそ異なれ、其の税金にこそ差額はあれ、淪落の女には少しも變りはない。見よ錢の亂れを、見よ白粉の剝げた枕のあとを。其處には悲しい影が秘んでゐるではないか。昔は純な少女であつた李文姬も亦さうした闇に咲く白粉の花であつた。併し天性の麗質は脂粉の香に依つて愈々其の美しさを增した。彼女が顏に顯はす[illegible]過去の悲しみも將た又戀なも包んで、男の心を魅き寄せた。安東縣に棲む税關の米人の如きは數百圓の金を惜氣も無く李文姬の前に並べて、我家の花と眺めやうと熱中した事實もある。併し彼女は唯微笑むのみで更に諾はうともしなかつた。溫突の暗い影に生長して、意氣も無く張りもなく、唯男に盲從する朝鮮の女には見る事の出來ぬ意地を彼女は持つてゐた。全盛になればなる程彼女は客に對して恣まゝに我意を振つた。金の前には決して屈せぬ意氣があつた。

其の頃新義州裁判所にHと呼ぶ檢事があつた。[illegible]其の土地には[illegible]權威を示したものである。彼は官位と金を以て如何なる女をも自由になし得るものと信じてゐた。彼が色を漁るに未だ嘗て思ひのまゝにならぬ事は無かつた。一度び李文姬を見て、他の女の總てを忘れた。Hは身受けして閨ばんと堅く契つた綠新館の藝妓五郎を捨てゝ李文姬にのみ專ら愛を注いだ。最初の中こそ李文姬はHの愛を悅んだが、其の土地屈指の紳士なり權威ある官吏なり、殊に我が爲め深く契つた日本の藝妓を弊履の如く捨てたと聞いては、今心の冷笑を洩さずには居られなんだ。いつか彼女の玉の如き腕はH檢事の首を擁するやうになつた。

Hは花が何で咲くか月が何で照るかをも忘れて李文姬の許に通つた。果ては彼女が妓樓にゐるのを不安に感じ、數百金を投じて彼女を手活の花と眺めた。白粉の花は闇から明るみに出た。男は女が戀しくて腕が鳴る中こそ大騷ぎをするが一度び女が自由になると忽ち飽くものである。檢事は李文姬を我手に收めてから再び五郎の許に通ひ、他の女にも通じた。彼女はHの樣子の日毎に推移する狀を秘かに眺めてゐたが、一夜Hから買つて貰つた家財道具を悉く賣拂ひHに無斷で元の古巢明月に歸り再び闇に咲く白粉の花となつた。Hは悔んだが、身分が是を追及せしめない。其儘泣寢入つて間もなく南鮮地方に轉任した。李文姬は手を拍つて男の愚を嘲笑した。

## 獨墺俘虜は本年中 全部送還するに

習志野外六箇所の收容所に五年故國を慕ふ四千五百人の獨墺俘虜は講和條約御批准後は愈解放さるゝ筈なるが其引渡順序は六日陸軍省に召集されし全國俘虜收容所長會議に法つて開催せられたる解放準備委員會の決定に基き獨逸側委員と協議を開き受渡の調印を爲す筈にて、獨逸側の受領委員としては本邦駐在瑞西代理公使獨逸政府より囑託されて居れるが、輸送船は四千噸級のもの三四隻を契約し本年中に全部送還の筈なりと、受領委員に引渡其後の費用は勿論我國の關する處にあらざれども今日迄の總費用は約六百[illegible]に上れるが之は講和條約に依つて全く償せらるべきものなる由

## 猩紅熱流行 どなたも御注意

市内並木町百三十番地小林やゑ(九)は六日猩紅熱にて順化院に收容されたるが猩紅熱は尙蔓延の兆あれば一般家庭にては充分注意すべしと

## 罷免巡査 哀願す 當局の英斷

本町署管内在勤鮮人巡査結束し當局に對し待遇改善方を要請し同盟缺勤の擧に出でたるより當局にては直ちに首謀者三十餘名を一擧に馘首し其威嚴を示す處ありたるが此の英斷は頗る即効あり一時永登浦、水原、仁川等の[illegible]も此の恐塔に加擔するなきやを危まれたるも一度當局英斷の報傳はるや孰れも其非を悟り何等の事もなくして止みたるが馘首せられたる鮮人巡査中には今更の如く前非を悔ひ當局に對し復職を哀願し來るものある由なるも斷乎として卻けつゝある由にて當局の決意頗る堅く將來斯る類ある時に於ては幾百千人たりとも一歩も假借せず一刀兩斷の所置に出づること勿論なりと云ふ

## 又も咬傷

市内南大門通五丁目九十五番地越野永二郎方飼犬は七日午前十時頃南大門通五丁目八十七番地青木亭一に咬傷を負はし又本町四丁目七十九番地奈良田かな方飼犬は七日午前八時頃同所附近に遊び居たる本町四丁目六十九番地村上太一(六)に咬傷を負はしたるにより右二犬は直ちに繋留を命ぜられ被害者は豫防注射を受け目下細菌試驗所にて血液試驗中なり

京 黃金館開演中 喜劇界の名物(一枚二人通用) 五九郎一座 讀者優待券 京日

特等 普通入場料 二圓五十錢 / 一等 二圓 / 二等 一圓七十錢 / 三等 七十錢

割引入場料 特等 二圓 / 一等 一圓二十錢 / 二等 七十錢 / 三等 四十錢

京城日報社

## 五九郎一座 愈々今晩限り

面白い『鬼の涙』劇

大人氣の中に開演中の五九郎一座は次興行の都合上止むなく今晩を以て黃金館を打上る筈であるが今晩の替狂言は別項の通であるが其の中第三番目の鬼の涙は五九郎の十八番であるから隨分面白いところを見せるであらう

### 三日替狂言

第一 喜劇 歸省 一場
第二 同 人の妻 一場
第三 同 鬼の涙 一場
第四 森の中 一場

## 市内牛肉商 狼狽す

鐵原方面から安い肉がドシ〳〵入る

京城府越川衞生係主任は大いに安い肉が食はれますよと前提して語る昨今の屠獸場は大した景氣で先月下旬の日曜日なんかは百二十頭も屠殺した昨年は平均日に三十七頭五分といふ極めて貧弱なものであつたが本年は

**毎日平均** 七十一頭といふ割合である等しく物價騰貴の脅威を受けながら昨年は非常に貧弱な屠獸狀態で鮮人の如きは四圍の經濟狀況に餘儀なくされて到底肉は食ふことが出來ぬ關係上から血液を豆腐の如うにかためてそれを食事の時に

**肉の代用** としてゐた位です處が本年は一般世間の所謂景氣がいゝのとコレラの爲め肉の需要が激增して今日のやうな大繁昌を呈し一般は仲々高價な肉を食はされて居つた處ヘツヒ

**二週間前** から鐵原、[illegible]岩里の兩方面から屠殺肉を盛んに搬入して一斤上等二十七八錢から三十錢とめて卸賣と小賣との行商隊が大活動を開始した市内の卸賣りは一斤四十錢を唱へてゐる一方は卸賣りが二十七八錢から三十錢とめてである

**其値開き** が餘り懸隔があるので市内販肉商は殆んど太刀打ちが出來ず屠獸從業者は[illegible]組合代表者をして去る五日京城府に請願書を提出し腐敗其他良否に就いて充分なる檢査を執行する等

**相當取締** を勵行して貰ひ度いと云ひ出たので其の趣きは警察の方へも通じたが之れは今まで市内の肉商が非常な暴利を貪つて居つたことを證明することになる販肉の檢査は施行すべきも價格の取締を爲すことは當局では出來ないと

**說諭して** 置いたが何しろ二十七八錢で上等肉が京城へドシ〳〵移入販賣され始めたから今暫らくすると安價な肉が一般に供給されませう

## 徘徊中逮捕

住所不定張世昌(三〇)は八月十三日午後十一時堅志洞二十七番地古物商金定完方に忍び込み現金百三十圓[illegible]を窃取し姿を晦ましたるが金の有る間は諸所を飛び廻り無一物となつて再び京城に舞戻り市中を徘徊し居る處を本町署の手に檢擧されたり

◎禮智洞のボヤ 七日午後四時頃禮智洞百四十九番地洪性永方より發火したるより鍾路警察署より警官時を移さず現場に馳せ付け附近の者を指揮し活動したる結果同家炊事場の一部を燒却したるのみにて同二十分頃鎭火したり原因は焚火の不仕末にて損害は僅少の見込なりと

◎心當りの人は 六日新町六番地裏手に中村久兵衞の印章及證券類在中の手提金庫及鞄を遺棄しありたるを本町署に屆出でたり▲勳六等旭日章及日露戰役從軍徽章他衣類數点在中の柳行李一個を盜難に罹り或は紛失したる者は本町署に屆け出づべし

◎總督府倉庫夫採用 總督府にては年齡五十歳以下にして身體强健品行方正且京城市内に確實なる身元保證人あるもの數名を倉庫夫として採用すべく志願者は履歷書持參總督府會計課用度掛に出頭すべし

## 運動界

**東專武術大會** 來る八日東洋協會專門學校では午前九時より柔道大會を開催し午前十一時より更に劍道大會を擧行する由當日は同校健兒當つて參加する筈なれば定めし盛會ならん

**善隣軍大捷** 善隣商業は去る一日東洋協會專門學校を迎へ同校コートに庭球試合を擧行したるが善隣軍優勝一組を殘して大捷せり

東協 善隣
影山萬瀨……樹神物部○
城谷桐木……樹神物部◎
○寺尾奧村……鍋井木下
◎寺尾奧村……伊藤石井
德住及川……村松古賀○
中村村田……村松古賀◎
寺尾奧村……掘田横田○

猶八日は醫學專門學校と自校コートに於て戰ふ筈

池田 イケダ小兒內科病院 京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(病院二二三四番)(自宅二〇〇〇番)

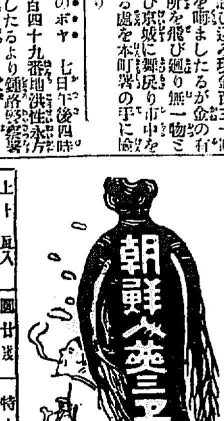
●純金包張保險● 御買求の方に限り 實用懷中時計ロハに成る引換券を進呈す 純金大流行の最新形

上圖の如く本品は名工が多年苦心の結果製作の純金張指輪にして一見純金と異らず又目方も同樣にて永久使用しての利子にて純金得られます德用品なり今回は五百限り何形にてもサック付並製只の 壹圓五拾錢均一 送料前金引換五拾錢【郵券代用】一割增し 文字彫刻は八拾錢上り 形も少々異り居り候間御注文の節御指定御申付下さい 御好の方は先金に限る

大阪市東區上本町九丁目 振替口座大阪五六九三 貴寶堂荒木商店

便利瓦中最優良品タル 舶來 マルゾイト 壹號品極割安販賣 京城太平通貳丁目二八六 岩出京城出張店 電話一六〇七番

李王家御嘉納品




上製 十五入 一圓廿錢 / 廿五入 二圓廿錢 / 四十五入 四圓
特製 十五入 一圓五十錢 / 廿五入 二圓八十錢 / 四十五入 五圓
京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

▲急告▼ 赤煉瓦 右四拾萬個賣却す希望者は至急來談あれ 朝鮮京釜線大田 安井煉瓦工場

捕雀用極上等絹絲製 カスミ網 高サ六尺三間 二棚横巾三間 四十錢 / 高サ六尺五間 二棚横巾五間 五圓五十錢 前金に限り送料負擔 代金引換送料貳拾錢 朝鮮京城永樂町 吉備商會網部 電話三一四 振替京城三一八 捕雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れますすに數十羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

眼科專門 入院室 京城明治町東拓横(電話一〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午前診察 江頭寛雄

# 夜の蜘蛛

『十八』 江見水蔭 挿畫 近藤紫雲

淺草公園の夜は、晝間の雜沓に氣分が減退して、色情氣分が甚だしく増加してゐる。

六區の活動前から池の方へ掛けては、男女相携へて逍遙するのが多い。中に取分けて縺れ合つた儘に歩くのは、カルメン小糸とダムダム彈次とで、何方も早や充分に酒が廻つてゐる。

『これからだわね、面白いのは……今夜は夜通し呑歩かうね』

『夜通し呑歩きもする。食歩きもする。中清へ行つて大根故合で一杯遣りながら、海老天の出來るのを待つてる間に、やつこの鍋が消化れて了ふだらう』

『油ッこいのばかりね』

『然うよ。此上、來々軒でチャン料理を退治て、鮨清でサビ濃山のトロを一皿平げて、今度は方面を變へて與加樓で洋食だ』

『誰でも好いから、取巻かして遣らうと思つてる時には、お生憎で、知つた顔に逢はないわね』

『……如何せヤケクソだ。盗した物を盗まれたのだから、結式の時に袋に入れただけは、今夜中に拵んで了はないと、腹の蟲が納まらねえ』

『あれ、人中だわ。大きな聲で云ふのぢやア無いわよ』

『大きに然うだッたな。口を愼むこして置いて、一寸イキ抜きに何か見ようぢやア無いか。然し活動は乙でねえ。ずッこ野趣も味は下間で、八木節でも聴くかア』

『あゝ、八木節はイカモノでも洒落てるわよ。囃子のチャカポコが面白いから、踊らうかね』

此時、突然、後から二人の間に割込んだ者がある。それは筒袖に大黒帽の少年だ。

『おい、カルメンさん。誰でも驕るのなら、僕に何か食はしてお呉れよ。未だ晩飯を食はないんだから……』

小糸は一寸吃驚したが。

『あら、誰？見たような顔だけれど……』

ダムダム彈次も覗き込んで。

『何だ、手前は……俺は知らないぞ』

少年は左右の手で二人の袖をシツカリ握りながら。

『淺草公園へ來て團十郎の銅像を見なくツても、俺の顔を知らなくツちやア、恥だらうぜ』

『あら、大きな事を云ふわ』

『醜體は小さくッても氣ッ玉は大ッけいのだ。この小屋だッて僕達の鬪派が入つて野次り出したら、イクラ當つてる興行でも、滅茶々々にして了ふのだよ。バチルス團の第三號こは俺なんだ。小糸嬢が夢遊館へ出て、劇女優で賣出てるた時には、蔭ながら後援したものだぜ』

『あッ、お前達だッたわね。樂屋へ來ては搔拂ひをしたのは……』

『バチルス團の中には隨分惡い奴がゐたからなア。併し、今は其筋の取締が嚴しいので、殴う[illegible]にもしないよ』

『こいふ口の下から、姿達を追ひ出して、何か驕らせ様とするのぢやア無いの』

『お前が、今よ、驕りたいが、誰にも逢はないと云つたからよ』

ダムダム彈次は、それを引取つて。

『何だか貴様は話せさうだ、驕つてやるから來い、魚がし料理でお腹だけ通してやるよ』

『何だツて我慢するよ』

『其代り、お前に聴きたい事が有るんだが、話して呉れるだらうな』

『そりやア何だツて話してやらア。本堂の間口が何間、奥行が何間何尺、何尺有つて、本尊の觀音樣の寸法までチヤンと心得てる樣な顔をして、實は何にも知らないんだい』

『笑はせやアがる』

『此子供、面白いわねえ』

ダムダムも、カルメンも、バチルス團の第三號には、一臘まかれながら、魚がし料理の食堂にと入つて、片隅の卓子を二人で占領した。

縫糸 式レース糸 其他附屬品製造卸 ビワコ屋糸店 京城北米倉町 電話五〇五番

## 出版界の珍現象

大家に飽きた讀者が 春に無名作家を物色

近頃大分新進作家や、無名作家の物が出版されるやうになつた。書店に聞いて見ると賣行も可なり好く、殊に雛つた良い物になると所謂大家連のよりも無名作家の著述が好く賣るこいふことである。出版こいふものはなかなか抜目のないものであるから、誰か此少毛色の變つた作家があるこすぐ渡りをつけて無理にも書かせて一ご儲けしようこか、ら、それが又不思議に中つて好く賣る。考へて見るこ世の中が逆樣になつたやうである。單一にいつても少しも三[illegible]までは何の著述にしても大家のものでなければ賣れず、内容は兎に角著者の名は大家のそれでなくては讀者も取り上げなかつたのであるが、で從つて本屋の方でも大家へ〳〵ご目をつけてゐたものだが近來は其趣向が大分變化して、有名なる名を云爲するよりも内容のはもうい、加減讀者の鼻について來たものだからツイ有り觸れない頭腦のフレッシュなところを喜ぶこいふ氣分が一般にあるのである。其の聲援によつて新進作家の物になるこ大概は版を重ねる程に賣るが大家の物は[illegible]して了つて一[illegible]い、最近に出した[illegible]の日露混血兒の如きツイ此間までは一枚二十五錢で買つて貰ふこヤットこだつたもので新小説なごは一寸顧みる人も無かつた程なのだが、一度中央公論に出て以來は無茶苦茶な賣方である、殊に春陽堂なごは刎ね付けたこごは忘れて以前の方にだけ書けば月々の生活は保障するなごこ談判に行つた程である、其他新潮社の取扱つた新作家のものにしろ[illegible]のものにしろ皆結果は好いのである、で多くの出版屋は之等の原稿を頻りに物色してゐる者こ思はん者は大いに打て出たらよからうこ某大家が言つてゐた(東京)

皮膚科 外科 専門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

キャラメル ミルクチョコレート 富士製菓株式會社

## 日報歌壇

□ 秋晴 水澤江二(京城)

山深み松風の音にみたさるゝ秋篭の壁の寂しさ
おほほしく曇れる空の暁にして時折鳴けり秋蛩
これやこの秋爽き日の暮れ近みひそひそとして雨降り出でぬ
夕かげりほのかに風の渡りゐて揺れの淋しもコスモスの花
ひそつりこ暮れゆく空のひさごこく光りて星出でにけり
秋半ば我が家の庭は血の如く今朝の咲き盛り居り
今宵心静けくほのかなる君の林檎の香に親しめる

□ 草野 露彦(京城)

かなしくも早秋立てばしかすがにダリヤ倒れ萎ひし花へく
久しくし咲きてダリヤの今朝見れば風に倒れて起すべなし
虫の音聽きすまし居れば淋しくてハモニカとり出すこの長夜かも
夜な長く眼ざめて冷き疊上まろびてあれば馬追ひの啼く
夜深みたごる坂路近くにちむが如くこほろぎ啼けり
窓あけて寝れしか寒さに夜半に起き戸な立てければ虫の啼くあり
眠覺むればあかときかけて冷ゆまさり輕き布團かけにけるかも

□ 衣川 幽子(龍山)

旅に來て夕さりくればしかすがに家な偲びて遠く空見る
外に出でゝ前闇の空を仰ぎつゝ幼な兒の如家戀ひにけり
ほつれんと火鉢に倚りて君を待てる母な思へば心急ぐも
人少なき夜汽車の窓に身伸ばせて澄みの冷たき星仰ぎたり
頭吹く夜風冷たく身に沁みて宵戸閉めつ歌おもひけり
疲れはて髪の亂れし淋しげの顔硝子戸にうつりゐるかも
電燈を低く下して床ぬちに雨の夜更けな本讀みにけり
何事か思ひ出して『ウエルテルの悲み』久に讀みにけるかも
窓近く身を横たへて前夜の雨土の香を淋しみきくも
痛める眼の痛み悲しく本伏せて眼を閉ぢぬれば寝られなくに
壁に懸けしマリアの像に灯の映りて雨に淋しき夜半の室ぬち
いつしかも眠りしならむ月光むに枕邊あがる[illegible]こもり居り
雨だれ[illegible]止みて[illegible]

牛乳 御用 朝鮮京城 岡野牧場 電話一〇六九番

### 投書

[illegible]の御方は此の欄を拝借して御教へ下さいまし(啼子)▲私は或る煩悶の爲め非常に頭腦の明晰な缺きまして大變に恐怖力に乏しくなりまして居ります者です識者に至れと思召しめし療法御存じの方何卒御教示下さいませ御願ひで御座います(一學生)▲物價は柳やが上にも騰貴して殆ど社會は日給生活難の悲境に陥り開けば京大教授連も遂に彈を切りて増給を要求したる由本も有りそんな者々判任官連は過日六七名以下の者は夫々出席的に辞職せしめられたるも其以上の者には何等の議もなし此の世智辛き今日多數の家族を養ひ三四年前物價の安き時辞職したる俸給に甚しめんせればならめとは誠に情けなき次第也。敢て其筋に訴ふ(洋服調氏)

く聞ゆ發近すから

◎阿修羅帖 廻布告 本邦建築學界の泰斗工學博士伊東忠太郎氏が其筆技として諷刺漫畫の妙筆を揮ふことは夙に同人間に尊重さるゝ處なるが殊に世界大戰以來神來の興に乘じて作りたる戯畫は實に戰爭の發端より講和批准迄凡て五百、仔細に之を閲すれば滑稽諷刺の間に一貫したる大戰史を味ふの感あり大戰爭に關する一大記念刊こ稱するを得べく今回之を阿修羅帖と名け神田橋本町國粹出版社にて編輯發賣する事こしたるが更に志賀重昂、三宅雪嶺、杉村楚人冠其他多數名士の讃評を有するに至りて出版界の異彩たるを失はず[illegible]十四、上製九十圓全五卷こして頒つ 締切十一月廿日

▲大和武士生へ 御尤もの場所を探りて自國の短所をおさなふのが何がそんなに惡からう。貴君は表情の事に付いても愚論を叫ばれたが、まあ靜かに考へて御覽なさい、表情の完全なのと不完全なのとを比べて不完全なの方が探る人に弱いことの他にはあるまい、加ふるにそれが嗚諦で、可成、大分の表情を[illegible]やないか。表情とか嗚籠とか小さい事はさて置いて、大きな事例へば[illegible]の樣な場合に完全を望みませんか。こうなると君の國を思ふ心がさつぱりわからなくなる。勿論西洋に心醉して自國も省みないのは大に惡い、或る君の樣に日本短所を取げられそれを改良せうとせずに一途に怒るなんて人が多くなると我國の進歩向上は望まれない。同じ國を思ふなら甲斐ある仕方をしてもらひたい。(エスズイ生)▲龍山の甲斐[illegible]職希望の二十七歳の青年へ御用なら下記へ午後四時頃より御出で下さい(北米倉町一四〇の六二號小林)▲[illegible]人向きの家庭内職なす所を御存じの御方は此の欄を拝借して御教へ下さい

## 懸賞詰將棋(第三回)

出題者 京城若草町九七 六段 溝呂木光治

持駒 金銀

▲募集規定▼

賞品 本社代理部買券 價格壹圓

入賞者 一名 但正解者多數の時は抽籤の事

締切 十一月二十日

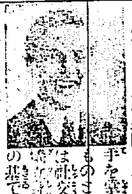
注意 京城日報社將棋係宛投稿の事



## ◎交際上手 談話演説の秘訣

▲▲[illegible] 交際會合の秘訣

説や座談に會話の樣なシャベりかたは相手を飽きさせて上手ふところでチョイと奇抜な警句滑稽諧謔を入れて聴衆の人をドット笑はせんわり我意を持出し氣に聞き手を掌中のものにするは社交の要訣の基である



[illegible]

女事務員 [illegible]十六歳以上廿[illegible]

賣却 所在地 龍山[illegible]

アカシヤ 一樹 庭木 京城元町三〇 竹村久市 電話九

募集 [illegible] 京城本町二丁目 大橋商店

看護婦見習 數名至急入用 仁川 佐藤病院

内勤 女社員招聘 但日收廿五圓以上本人次第 京城黄金町二丁目 日華生命 朝鮮支部

貸家 御通知の方へは相當の謝禮 市内古市町三五

小店員 [illegible]

神通力 [illegible]

英雄傳 東京銀座[illegible] 興隆堂

月經 [illegible] 常盤藥[illegible]

女[illegible]入用 [illegible]





## 何故に直治水は理想的眼病藥なりや

**直治水の組織** 本劑は血管收縮、收斂、防腐、殺菌、消炎、の特殊作用ある眼科最新薬劑を進歩せる調劑術に基き配伍したる理想的眼病新薬にして、其成分中他の點眼藥に往々含有せらるゝ腐蝕性及副作用ある藥劑を配伍せず、故に安全にして效力確實なり。

**直治水の效驗** 本劑の適應症は激甚なる傳染性を有するトラホームを始め、急性慢性の結膜炎、淋毒性結膜炎、濾泡性結膜炎、麥粒腫、眼瞼縁炎、涙嚢炎、眼瞼痙攣症、等に驚く可き効驗あり。且つ根本的に視力の強壯强化を增進する特殊作用を有し、眼結膜の諸病に對し消炎鎮痛の[illegible]

**直治水の權威** 本劑は最高學府の推奬處方に基き、更に我製藥場に於て專攻技師藥學士諸氏が多年の實驗研究に據り、嚴密周到なる監督の下に調劑せるものにして藥品の絶對に精選せる、配合の正確なる、他に比す可きを見ず、殊に内容實質の改善のみならず、完備せる殺菌裝置の下に容器、點眼器、木栓に到る迄悉く嚴重なる消毒を施したれば、永く貯藏するも變敗の憂なく其効力も亦寸毫の變化なし。

かゝる人はスグ試みよ

□他の目藥で效なき人。
□永年難治の眼病に困る人。
□夜分夜更かし徹夜する人。
□細かき仕事にて眼を疲勞する人。
□常々眼性惡しき人。
□トラホームを病む人
□脂出で且眼の充血した人
一切の眼病諸症に特效あり

新式消毒點眼器 衛生ガーゼ添附

藥價 小瓶 金十錢 中瓶 金二十錢

全國各藥店に取次す

大阪順慶町通三丁目 東京日本橋區箔屋町

本舗 丹平商會藥房





河合龜太郎氏創製

本邦及英米國政府、專賣特許、滋養強壯料

## ◎肝油ドロップス

◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦、麥芽糖及可溶性含窒素物よりなる

◎肝油複方ドロップス 肝油の半量を蛋白質に換へ有機酸有機燐及石灰・規那等を含む

肝油は一般の虚弱者、腺病者、結核性素質者、榮養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、缺くからざる滋養劑なることは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味未だ不快消化不良困難なるが故に、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て麥芽糖及可溶性含窒素物を基礎こし、一顆毎に精製肝油の含有量を正確にし乳化完全消化吸收最も容易なる、美味無臭の「肝油ドロップス」を創製す、本品は服用に煩雜なる手數、携帶の不便、變敗の迅速等の缺點なく、普通の菓子同樣容易に食用し得る事こ、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色こする所なり。

用法 普通菓子の如く食すべし又鉄を以て細片に剪り冷水或は甘味湯にて嚥下にするも妨げなし

定價 五十顆入一圓金九十錢 百二十顆入一圓金一圓八十錢 複方百顆入一圓金一圓八十錢 内地以外は郵稅實費を加ふ

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 本舗 ◎ 丸見屋商店



…新聞…を得たる…府の景氣益々良好なるこ…約二三割見當の増加な作よて増加せるが故に當選者は從來の所有を避け多少の不利をたる以上に對し僅に二分乃至二分は新契約の増加こ共に却つて甚しく減少するならんこ觀測せ…